

甲斐市議会 決算審査特別委員会 会議録

1. 開催日時 令和6年9月2日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（14名）

委員長	清水和弘君	副委員長	加藤敬徳君
	若尾彰子君		安倍健治君
	保坂康君		樋口孝之君
	谷口和男君		金丸幸司君
	滝川美幸君		金丸寛君
	小澤重則君		松井豊君
	内藤久歳君		藤原正夫君

欠席委員（なし）

傍聴議員（1名）

議長 秋山照雄君

説明のため出席した者の職氏名

生活環境部長	望月新路君	産業振興部長	宮本裕君
都市建設部長	箭本太君	公営企業部長	小宮山尚君
敷島支所長兼 市民地域課長	森川嘉亮君	双葉支所長兼 市民地域課長	齋藤一也君
農林振興課長	小宮山佳浩君	商工観光課長	高須秀樹君
建設課長	芳賀康貴君	都市計画課長	久保欽一君
上下水道業務 課長	保坂義実君	上下水道工務 課長	中島茂樹君
敷島支所 市民地域課 庶務係長	小田切治君	敷島支所 市民地域課 環境土木係長	三井賢治君

双葉支所 市民地域課 庶務係長	小林久美君	双葉支所 市民地域課 環境土木係長	天野真君
農林総務係長	高橋正樹君	農林振興係長	長田明久君
農林土木係長	八巻哲也君	農業委員会 庶務係長	窪田友昭君
商工労働係長	伊藤仁美君	企業誘致係長	藤田充君
観光交流係長	上條秀夫君	建設総務係長	塚田英仁君
建設管理係長	中込聡君	まちづくり 推進係長	小林悟君
開発指導係長	小澤俊和君	整備係長	秋山裕介君
緑化推進係長	田邊誠君	緑化センター 活用推進係長	清水隆君
上水道施設 係長	池田靖君		

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	中澤一昭	書記	森田公
書記	藤井涼子		

審査内容

- 1 認定第1号 令和5年度甲斐市一般会計歳入歳出決算認定の件

開会 午前 9時27分

○書記（藤井涼子君） おはようございます。

ただいまから、決算審査特別委員会を始めさせていただきます。

本日は、決算参考資料のナンバー4、7、8、9と指定管理者導入施設の実績についてを使いますので、ご用意願います。

それでは、委員長挨拶、加藤副委員長、よろしく願いいたします。

○副委員長（加藤敬徳君） 改めまして、おはようございます。

本日は、委員長に代わり、私が進行させていただきます。よろしく願いします。

台風のほうも、被害が懸念されていましたが、山梨県では恐らくほぼ無事で済んだと思います。ただ、神奈川とか東京とかあちらは、かなりひどかったようですので、今後も災害については、注視していきたいと思います。

私も慣れていないので、イレギュラーには対応できませんので、なるべくそういうことのないようによろしく願いいたします。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） ただいまの出席委員は14名です。定足数に達しておりますので、これより決算審査特別委員会を開会します。

本日も先週に引き続き、一般会計歳出の決算審査を行います。限られた時間内の審査ですので、委員各位のご協力をお願いいたします。

審査に当たり、質疑は一問一答で行い、質問の際は、決算参考資料のページと事業名を言っただき、簡潔にお願いします。

また、当局側の答弁も簡潔に説明していただきたいと思います。皆さんのご協力をお願いします。

それでは、審査に入ります。

認定第1号 令和5年度甲斐市一般会計歳入歳出決算認定の件を議題とします。

それでは、敷島・双葉支所市民地域課所管の事業について説明をお願いします。

森川敷島支所長。

○敷島支所長兼市民地域課長（森川嘉亮君） おはようございます。よろしくお願ひいたします。

それでは、敷島支所の令和5年度の決算内容につきまして、ご説明をさせていただきます。
決算書につきましては、68ページ、69ページ、決算参考資料はナンバー4の16ページを
お願ひいたします。

説明につきましては、決算参考資料に沿って説明をさせていただきます。

初めに、2款総務費、1項総務管理費、7目支所及び出張所費、ナンバー03敷島支所関係職員費につきましては、支出済額9,009万6,814円で、財源内訳の国県支出金392万3,322円は、国からの国民年金市町村事務費交付金で、残りは一般財源であります。事業内容は、正職員12人分の人件費であります。

次に、ナンバー04敷島支所関係会計年度任用職員等費であります。

支出済額1,353万7,169円で、全て一般財源であります。事業内容は、会計年度任用職員5人分の人件費であります。

次に、ナンバー10敷島庁舎維持管理費であります。

支出済額667万7,301円で財源内訳は、その他財源の9万825円は、敷島庁舎駐車場に設置してあります自動販売機使用料であります。残りは一般財源であります。主な事業内容といたしましては、庁舎管理用消耗品費、光熱水費、施設清掃、警備、維持管理委託料等であります。

次に、ナンバー11敷島支所公用車管理事業であります。

支出済額464万5,818円で、財源内訳の市債210万円は、脱炭素推進事業債、その他財源の114万4,000円は、クリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充填インフラ等導入促進補助金75万4,000円及び公共施設等整備基金繰入金39万円の合計額で、残りは一般財源であります。主な事業内容といたしましては、敷島支所で使用しております公用車6台に係る経費で、燃料費、修繕料、車検時検査料等、諸費用のほか、電気自動車用普通充電器設置工事、公用車EV自動車の購入費であります。

以上、支所及び出張所費の支出済額の合計は、1億1,495万7,102円であります。

以上が、敷島支所市民地域課の令和5年度決算内容であります。ご審議のほどよろしくお願ひいたします。

○副委員長（加藤敬徳君） 次に、双葉支所市民地域課からお願ひします。

齋藤双葉支所長。

○双葉支所長兼市民地域課長（齋藤一也君） お疲れさまです。

引き続き、双葉支所市民地域課の決算内容について、ご説明させていただきます。

決算書は、同じく68ページ、69ページになります。

決算参考資料は、17ページをお願いいたします。

2款総務費、1項総務管理費、7目支所及び出張所費、ナンバー05双葉支所関係職員費、支出済額7,512万6,249円、財源内訳の国県支出金392万3,321円は国民年金市町村事務費交付金になります。事業内容は、職員10人分の人件費です。

次に、ナンバー20双葉庁舎維持管理費、支出済額733万8,043円、財源内訳のその他35万1,169円は、ロビーに設置してあります自動販売機使用料7万4,629円と、庁舎2階の2部屋を峡中保護司会と甲斐市職員組合へ貸出しをしています、事務室使用料27万6,540円になります。事業内容は、庁舎及び敷地内の維持管理経費で、消耗品、修繕料、光熱水費のほか、施設清掃、警備、維持管理費委託料となっております。

続きまして、ナンバー21双葉支所公用車管理事業、支出済額163万295円、財源内訳のその他103万4,000円は、公共施設等整備基金38万円と一般社団法人次世代自動車振興センターのクリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた、充電・充てんインフラ等導入促進補助金65万4,000円になります。事業内容は、双葉支所が所管する公用車6台の燃料費、修繕料のほか、車検、法定12か月点検等に関わる経費、電気自動車用普通充電器設置工事、重量税等になります。

以上、予算減額合計8,705万8,000円に対し、支出済額合計は8,409万4,587円となっております。

双葉支所市民地域課に関わる決算内容は、以上であります。ご審議のほどよろしく願いいたします。

○副委員長（加藤敬徳君） 説明が終わりました。

これより、説明に対しての質疑を行います。

所管は、総務教育常任委員会になります。

質疑はありませんか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 多分、敷島支所の関係だと思うんですが、梅の里へ向かう街路樹です。

非常に剪定もしていないし草がぼうぼうで。

○副委員長（加藤敬徳君） すみません、どこの項目ですか。

- 委員（松井 豊君） 梅の里へ向かう市道の街路樹。
- 副委員長（加藤敬徳君） すみません、説明に対しての質問をお願いします。
- 委員（松井 豊君） 一般管理になると思うんですが。
- 副委員長（加藤敬徳君） 建設課の所管になるので。
- 委員（松井 豊君） 敷島支所で管理していると思うけど。
- 副委員長（加藤敬徳君） 今の決算の質問に対しての質問。
休憩します。

休憩 午前 9時37分

再開 午前 9時37分

- 副委員長（加藤敬徳君） 会議を再開します。
ほかに質疑ありませんか。
内藤委員。
- 委員（内藤久歳君） 今の質問に関連というか、内容的にはちょっと違うと思うんだけど、双葉支所の看板があるよね。看板が非常に見づらくなっていて、これは施設管理のほうに入ると思うんだけど、非常に見づらくてぼちぼち改修というか、修繕をする必要があるんじゃないかと思っているんだけど、これ来年度に向けて一応検討してもらって、看板の整備をやってもらいたいと思うんだけど、その辺のところは。
- 副委員長（加藤敬徳君） 齋藤双葉支所長。
- 双葉支所長兼市民地域課長（齋藤一也君） 現地のほうを確認させていただきまして、整備のほうを検討させていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。
- 副委員長（加藤敬徳君） なるべく決算に対しての質問をお願いします。
ほかございませんか。
金丸幸司委員。
- 委員（金丸幸司君） 17ページの21双葉支所なんですけれども、敷島のほうでは、公用車EV購入1台になっているんですが、こちらの双葉のほうではないんですが、これは将来いずれ入れるということなんですか。ちょっとその辺を聞かせてください。
- 副委員長（加藤敬徳君） 小林双葉庶務係長。

○(双葉支所)庶務係長(小林久美君) 双葉庁舎につきましては、来年度、公用車の入替えを検討しております。その際には、電気自動車も含めた中で検討にはなってくるかと思いますが、詳細は、また来年度の予算のときに検討させていただきます。

○副委員長(加藤敬徳君) よろしいですか。ほかありませんか。

[発言する者なし]

○副委員長(加藤敬徳君) なければ、所管以外の委員の質疑に入ります。
質疑ございますか。

[発言する者なし]

○副委員長(加藤敬徳君) なければ、委員の質疑を終了します。
これで、敷島・双葉支所市民地域課についてを終了します。
ここで、暫時休憩し、職員の入替えを行います。

休憩 午前 9時40分

再開 午前 9時42分

○副委員長(加藤敬徳君) 会議を再開します。

説明、答弁は、簡潔にお願いします。

次に、農林振興課所管の事業について、説明をお願いします。

小宮山農林振興課長。

○農林振興課長(小宮山佳浩君) おはようございます。よろしくお願ひいたします。

それでは、農林振興課及び敷島支所市民地域課の令和5年度決算につきまして、ご説明させていただきます。

決算書につきましては、100ページからとなります。

決算参考資料ナンバー7の3ページをお願いいたします。

6款農林水産業費、1項農業費、1目農業委員会費、ナンバー01農業委員会費につきましては、支出済額1,093万3,889円で財源内訳のうち、国県支出金185万8,140円は、県補助金の農業委員会補助金であります。事業内容は、農業委員と農地利用最適化推進委員の報酬、農地利用状況調査に係る経費、農地情報システム保守経費、県農業会議等への法令外負担金などです。

次に、2目農業総務費になりますが、決算書のほうは102、103ページになります。

ナンバー01農林業関係職員費につきましては、支出済額1億1,305万8,668円で、財源内訳のうち、国県支出金215万3,000円は、県補助金の農業委員会補助金で、その他の36万8,000円は、雑入の農業者年金業務事務委託事業収入26万3,000円と、農地中間管理機構業務委託費10万5,000円の合計であります。事業内容は、産業振興部長と農林振興課職員の人件費であります。

次に、ナンバー10農業庶務費につきましては、支出済額264万9,593円で財源内訳のうち、その他1万3,810円は、農林水産業手数料の証明手数料であります。事業内容は、農政協力員の報酬や法令外負担金などであります。

決算参考資料の4ページをお願いします。

ナンバー50産業振興部公用車維持管理事業につきましては、支出済額56万2,417円で、財源内訳は全て一般財源であります。事業内容は、産業振興部で使用している公用車の燃料費等であります。

次に、3目農業振興費、ナンバー01農業振興地域整備事業につきましては、支出済額475万8,820円で財源内訳は全て一般財源であります。事業内容は、農業振興地域整備推進協議会委員の報酬と農業振興地域整備計画策定業務委託などあります。

次に、ナンバー04農業資金事業につきましては、支出済額6,413円で財源内訳のうち国県支出金3,206円は、県補助金の雪害緊急対策事業費補助金であります。事業内容は、平成26年2月の大雪で被災した農業者1名分の復旧支援に係る利子補給の補助金であります。

次に、ナンバー05自立経営体確保、育成促進事業につきましては、支出済額865万円で財源内訳のうち国県支出金660万円は、県補助金の農業次世代人材投資事業費補助金で、その他100万円は、ふるさと応援基金繰入金であります。事業内容は、双葉農業振興会、敷島棚田等農耕文化保存協会、農業次世代人材投資事業のそれぞれの補助金であります。

次に、ナンバー06地産、地消事業につきましては、支出済額755万9,967円で財源内訳は全て一般財源であります。事業内容は、学校給食米関係、やはたいも作付、また有機質導入事業などへの補助金であります。

決算参考資料の5ページをお願いします。

ナンバー07有害鳥獣捕獲等対策事業につきましては、支出済額879万3,231円で財源内訳のうち国県支出金368万9,500円は、県補助金の特定鳥獣適正管理事業費補助金105万8,000円、鳥獣被害防止総合対策事業費補助金38万1,500円、土地改良事業等補助金225万円の合

計であります。事業内容は、鳥獣被害対策等の事業として、管理捕獲に対する報償費や捕獲業務等への補助金、また漆戸地区内への鳥獣害防止柵設置工事などであります。

次に、ナンバー10竜王土地改良区事業につきましては、支出済額489万3,925円で財源内訳は全て一般財源であります。事業内容は、竜王土地改良区の管理運営の対する補助金であります。

次に、ナンバー11一般農業振興費につきましては、支出済額133万1,745円で財源内訳は全て一般財源であります。事業内容は、農業用施設の電気料・水道料などの維持管理経費や水路浚渫の重機借上料などであります。

次に、ナンバー14甲斐市農業活性化事業につきましては、支出済額230万6,322円で財源内訳のうち、その他36万円は不動産貸付収入であります。事業内容は、甲斐市農業活性化協議会への補助金であります。

次に、ナンバー15経営所得安定対策推進事業につきましては、支出済額103万円4,372円で財源内訳のうち国県支出金92万5,000円は、経営所得安定対策推進事業補助金であります。事業内容は、推進事業に伴う会計年度任用職員の報酬や水田情報等の電算処理委託などあります。

決算参考資料の6ページをお願いします。

ここで、決算書のほうは104、105ページになります。

ナンバー16日本型直接支払事業につきましては、支出済額2,190万4,621円で財源内訳のうち国県支出金1,623万6,000円は、日本型直接支払事業交付金であります。事業内容は、中山間地域の農業生産条件の不利な集落で農地の管理について、協定を締結した集落や農地農業施設等の維持管理に、共同で取り組む組織への交付金などあります。

次に、ナンバー17農地集積・集約化対策事業につきましては、支出済額93万5,000円で財源内訳は全て国県支出金の農地集積・集約化対策事業費補助金となっております。事業内容は、機構借受農地整備事業として農地の整備工事を2件行ったものであります。

次に、ナンバー18地域おこし協力隊費につきましては、支出済額779万4,688円で財源内訳は全て一般財源であります。事業内容は、隊員2人の報酬、借家やリース車両の借上料などあります。

次に、ナンバー31自然休養村管理センター維持管理費につきましては、支出済額62万4,880円で財源内訳のうち、その他32万7,500円は、自然休養村管理センター使用料であります。事業内容は、センターの光熱水費、修繕料、点検委託料などあります。

次に、ナンバー32矢木羽湖公園等維持管理費につきましては、6ページから7ページにかけて記載しております。

支出済額517万714円で、財源内訳のうち、その他15万4,410円は矢木羽湖駐車場への自動販売機設置に伴う使用料であります。事業内容は、矢木羽湖公園等の維持管理に関する光熱水費、修繕料、トイレ清掃や除草の業務委託、トイレ屋根の改修工事費などであります。

次に、4目畜産費、ナンバー01畜産振興費につきましては、支出済額3万8,582円で財源内訳は全て一般財源であります。事業内容は、山梨県畜産協会会費等であります。

決算参考資料の8ページをお願いします。

5目農地費、ナンバー01土地改良事業につきましては、支出済額5,180万2,561円で財源内訳のうち、国県支出金1,545万円は農業基盤整備促進事業補助金であります。市債1,180万円は合併特例債、その他1,710万円は土地改良施設維持管理適正化事業交付金であります。事業内容は、土地改良施設維持管理適正化事業や農業基盤整備促進事業における施設等の改修工事、農道・水路等の補修単独工事、事業の負担金などあります。

次に、ナンバー03県営土地改良事業につきましては、支出済額7,351万9,113円で、うち現年分2,711万8,113円、繰越明許分4,640万1,000円あります。財源内訳のうち国県支出金71万5,000円は、県営土地改良事業事務委託金で全て現年分あります。市債6,570万円は合併特例債、公共事業債、防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債で、現年分2,360万円、繰越明許分4,210万円あります。事業内容は、県が実施した広域農道整備事業、中山間整備事業、農村地域防災減災事業、かんがい排水事業等への現年及び繰越明許分の負担金であります。

決算参考資料の9ページをお願いします。

ナンバー04農林業施設維持管理事業につきましては、支出済額8,051万1,053円で、うち現年分4,574万5,553円、繰越明許分3,476万5,500円あります。財源内訳のうち市債3,300万円は、合併特例債で全て繰越明許分あります。事業内容は、農道等の管理に伴う登記業務、農道・林道水路等の維持管理のための委託料及び補修工事などで現年分と繰越明許分あります。

次に、ナンバー05土地改良区施設改修事業につきましては、支出済額1,633万5,000円で、うち現年分113万5,000円、繰越明許分1,520万円あります。財源内訳のうち市債910万円は合併特例債、防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債で全て繰越明許分あります。その他572万2,496円は、高岩頭首工本復旧事業費関係自治体負担金で全て繰越明許分あります。

す。事業内容は、高岩頭首工整備事業に伴う河川占用図面作成業務委託料、農業用河川工作物等応急対策事業負担金などであります。

次に、6目中北部活性化事業費、ナンバー01中北部活性化事業につきましては、支出済額2,009万1,250円で財源内訳は全て、その他のクラインガルテン使用料となっております。事業内容は、クラインガルテン施設の修繕費、指定管理料、農地借地料などであります。

決算参考資料の10ページをお願いします。

決算書のほうは106、107ページになります。

2項林業費、1目林業振興費、ナンバー01林業振興費につきましては、支出済額643万4,807円で、財源内訳のうち、その他416万9,000円は、森林管理基金繰入金の一部であります。事業内容は、森林経営管理制度等に関する業務委託や打返作業道の補修工事、また林業振興事業の推進に伴う補助金、森林協会等への負担金などであります。

次に、ナンバー02松くい虫防除対策事業につきましては、支出済額787万9,927円で財源内訳のうち国県支出金566万729円は、県補助金の松くい虫被害対策事業補助金461万5,782円と、造林事業費補助金104万4,947円の合計であります。事業内容は、松くい虫防除に関する業務委託や昇仙峡の松の緑を守る会への負担金などであります。

次に、2目治山林道費、ナンバー02林道費につきましては、支出済額5,791万5,270円で財源内訳のうち国県支出金1,529万8,000円は、林道改良事業補助金、市債3,120万円は公共事業等債であります。事業内容は、林道維持管理等に伴う落石防護網設置工事、橋梁補修工事などであります。

決算参考資料11ページをお願いします。

次に、ナンバー03治山費につきましては、支出済額2万6,917円で財源内訳は全て一般財源となっております。事業内容は、事務消耗品の支出であります。

次に、11款災害復旧費、決算書のほうは144、145ページになります。

1項農林水産施設災害復旧費、1目農業用施設災害復旧費、ナンバー01現年度農林水産施設災害復旧費につきましては、支出はございませんでした。

次に、諸支出金ですが、決算書のほうは146ページから149ページとなります。

13款諸支出金、1項基金費、4目湧水対策施設建設等基金費、ナンバー01湧水対策施設建設等基金積立につきましては、支出済額4,000円で財源は全て、その他の基金利子分であります。事業内容は、基金積立金です。

決算参考資料の12ページをお願いします。

5目中山間ふるさと、水と土保全対策基金費、ナンバー01中山間ふるさと、水と土保全対策基金積立につきましては、支出済額1,000円で財源は全て、その他の基金利子分であります。事業内容は、基金積立金です。

次に、11目ラインガルテン基金費、ナンバー01ラインガルテン基金積立につきましては、支出済額242万4,000円で財源は全て、その他のラインガルテン入会金と基金利子であります。事業内容は、基金積立金です。

次に、16目森林管理基金費、ナンバー01森林管理基金積立につきましては、支出済額1,300万9,000円で財源内訳のうち、その他5,000円は、基金利子であります。事業内容は、基金への積立金であります。

決算内容の説明につきましては、ここまでとなります。

続きまして、農林振興課が所管しております、指定管理者導入施設の実績につきまして、ご説明させていただきます。

別冊の令和5年度決算参考資料、指定管理者導入施設の実績について、こちらの7ページをお願いします。

初めに、コミュニティホール双葉であります。

指定管理者は、梨北農業協同組合、指定期間は令和4年4月1日から令和7年3月31日まで、施設の概要は鉄骨造り310.4平米、1階部分は梨北農業協同組合双葉支店で、2階部分の多目的集会施設が指定管理となっております。

令和5年度の利用状況は、利用人数485人でありました。

甲斐市からの指定管理料の支出はございません。

8ページをお願いします。

決算状況ですが、収入については、利用料金収入8万7,700円です。支出については、科目の支出合計21万3,768円となっており、収入支出の差引きで12万6,068円の赤字決算であります。

9ページをお願いします。

敷島梅の里ラインガルテンであります。

指定管理者は、農事組合法人ゆうのう敷島、指定期間は令和4年4月1日から令和9年3月31日まで、施設の概要はクラブハウス1棟、休憩施設付き市民農園滞在型50組、日帰り型は27組となっております。

令和5年度の利用状況は、利用者総数4万6,572人でありました。令和5年度の指定管理

料は1,770万円であります。

10ページをお願いします。

決算状況ですが、収入については指定管理料のほか、営業収益など収入合計2,014万1,493円です。支出につきましては、支出の支出合計2,112万1,019円となっており、収入支出の差引きで97万9,526円の赤字決算であります。

11ページをお願いします。

双葉農の駅です。

指定管理者は、双葉農の駅企業組合、指定期間は、令和6年4月1日から令和9年3月31日までで更新をしております。施設の概要は、敷地面積3,215平米、事務所などの本体施設、それから、直売所、加工所などであります。

令和5年度の利用状況は、直売所利用者5万9,916人、フリーマーケット出店件数173件、加工所利用者66人でありました。

甲斐市からの指定管理料の支出はございません。

12ページをお願いいたします。

決算状況ですが、収入については、事業収入と事業外収入で収入合計5,112万7,155円です。支出については、事業費や一般管理費など科目の支出合計が5,392万7,587円となっており、収入支出の差引きで280万432円の赤字決算であります。

以上が、令和5年度の決算及び指定管理者導入施設の事業実績の説明となります。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

○副委員長（加藤敬徳君） 説明が終わりました。

これより、説明に対しての質疑を行います。

先に所管の委員の質疑を行います。なお、所管は建設経済常任委員会になります。

質疑ありませんか。

藤原委員。

○委員（藤原正夫君） おはようございます。お疲れさまです。

2点ほどお伺いをします。

実は、この後の建設課か何か分かりますけれども、8月7日の豪雨というか大雨がありまして、うちの近所、ちょっと下のほうでも農道とか水路なんかに、ちょっと大きいところの水路があふれて、かなり床下まで、床上まで寸前ということが何軒もあったんですけれども、これは、この次の土地改良の農道水路とか、9ページの04の農林振興設備のあれなの

か、そういうところに分類はあれですか。ここに入りますか。お願いします。

○副委員長（加藤敬徳君） 小宮山農林振興課長。

○農林振興課長（小宮山佳浩君） 今年度の大雨に対する復旧の事業につきましては、もちろん令和6年度、今年度で対応した経費等かかっております。今も発注というか災害で急遽復旧したのもありますし、お金がかかったのもありますし、これから対応するものもございませぬ。

ということで、令和6年度の決算で今言った事業の項目のところに出てくる見込みでありますので、よろしくをお願いします。

○副委員長（加藤敬徳君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） 6年度の決算に出てくるということは、6年度の決算だから来年の決算に出てくるということは、今やっているということだよ。じゃなくて私が言うのは、これから建設に決算の要望を個人的にまた出すということで、そういう人もかなり多いと思うんですけど今回は。

災害について水路の一級河川、二級河川というのは市と県と国のあれなんですけど、いろんな細い路地にまつわる水路の氾濫とかそういうのを復旧しようということは、また要望書には書くんですけども、次にぜひこんなこと、農業と関係があるならば、それに、来年度に盛り込んでほしいとか、考えをお聞かせ願いたいということなんですけど、もう一度答弁をよろしくお願ひしたい。

○副委員長（加藤敬徳君） 小宮山課長。

○農林振興課長（小宮山佳浩君） 予算決算のほうで先ほど説明の中にも、令和5年度の決算では現年度災害復旧費というものがありませんでしたけれども、令和6年度の現年度の災害復旧費、少額ですけども対応する予定のものがあります。

それから、現状、予算計上している中で、その対応ができれば、その中で対応するんですが、もし計算をして足りない場合には予算厳しい中ですけども、財政当局と協議しながら予算計上をしていければと考えております。よろしくをお願いします。

○副委員長（加藤敬徳君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） ありがとうございます。ぜひお願いします。

ちょっと変わります。5ページに戻ります。

5ページの有害鳥獣のことで、07よろしいですか。

いつもあれなんですけれども、その中で鳥獣害防止の柵設置ということで、今回も漆戸地

区を去年やりましたけれども、今現在は、どこのところをやっていますかね。

○副委員長（加藤敬徳君） 長田農林振興係長。

○農林振興係長（長田明久君） ただいまの漆戸地区の鳥獣フェンスの質問についてお答えいたします。

令和6年度についても、引き続き漆戸地区を鳥獣フェンスの設置工事を行う予定であります。漆戸の昨年度やった続きになるんですが、大体漆戸地区の家がある周りをやっているんですけれども、そちらのほうを引き続き、やる予定であります。

○副委員長（加藤敬徳君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） ありがとうございます。

今、漆戸地区を重点的にあの辺をやっているんですけれども、その向こうにいろいろ敷島町には打返がいろんなどころにあるんですけど、そこにもかなり苦情が来ていると思うんですけれども、一遍にはできないということは承知しています。徐々にそんなところも防止柵をしてほしいと、これは要望ですのでお願いします。はい、終わります。

○副委員長（加藤敬徳君） 松井委員。

○委員（松井 豊君） 4ページの05柵田の協会補助金ですが、105万円、これは、ひとつかみじゃないと思うんで、ちょっと内訳を教えてください。

○副委員長（加藤敬徳君） 長田係長。

○農林振興係長（長田明久君） 柵田保存会の内訳についてなんですけれども、100万円についてはクラウドファンディングで集めたお金になります。あとは5万円については例年、通常の補助金で交付している金額となります。

以上となります。

○副委員長（加藤敬徳君） よろしいですか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 5ページの07の有害鳥獣の適正管理です。これ捕獲数など分かったら教えてください。

○副委員長（加藤敬徳君） 長田係長。

○農林振興係長（長田明久君） 捕獲数の内訳についてお答えいたします。

鹿が120頭、イノシシが22頭、合計142頭になります。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） よろしいですか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 飛んで10ページですが、松くい虫防除対策、この事業委託は、委託先はどこだったでしょうか。

○副委員長（加藤敬徳君） 長田係長。

○農林振興係長（長田明久君） 委託先についてお答えいたします。

敷島地区については、中央森林組合、双葉地区については、峡北森林組合に委託をして事業を行っております。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） よろしいですか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） すみません、最後。

クラインガルテンですが、もう築20年近く経ちますが、建物は割と言っちゃなんだけど、安普請的なところもあるんで、耐用年数的にはどのくらい見積もっているのでしょうか。

○副委員長（加藤敬徳君） 小宮山課長。

○農林振興課長（小宮山佳浩君） 木造の平家建ての建築になります。おおむね25年から30年と記憶しているところですが、今のところ利用者の方の協力、それから修繕等も細かくしたところがありますので、今のところは問題なくいっていると。修繕等ももちろん行っておりますので、そんな感じで把握しているところであります。

○副委員長（加藤敬徳君） よろしいですか。ほかはございますか。

樋口委員。

○委員（樋口孝之君） 4ページの一番身近な問題から、ちょっと2件ほど質問させてください。

4ページの06です。

やはたいもの作付補助金ということで、甲斐市といえば、「やはたいも」ということで、この補助金も昨年は見ると、今年のこの今の金額では、約10万円減っています。作付面積も減っている。農業をする人も、「やはたいも」を作る人も少なくなっているということで、その補助金は何件ぐらい出したのでしょうか。

○副委員長（加藤敬徳君） 高橋農林総務係長。

○農林総務係長（高橋正樹君） 令和5年度補助金の交付実績ですけど、51人に交付しております。作付面積6万1,904平米、こちらのほうの作付に対して平米20円の補助金を交付

しております。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） 樋口委員。

○委員（樋口孝之君） そうすると、昨年度より細かいですけど、何件くらい減っているんですか。減っていると思うんですけど。

○副委員長（加藤敬徳君） 高橋係長。

○農林総務係長（高橋正樹君） 件数的には昨年度から4名ほど減っております。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） 樋口委員。

○委員（樋口孝之君） この「やはたいも」も、先ほど言ったように、甲斐市といえば「やはたいも」ということで、年々少なくなっていると心配ということだと思いますけれども、年々少なくなっているということですから、何か少なくなっているということですので、それ以外にお金だけでなく違うことも考えたり、連作もできないとか何とか聞いたことがあるんですけど、そういうということも、それ以外のことも何か考えたりしているのか、考えていることがあれば、アドバイスしているよというようなことがあれば、お知らせしていただきたいんですけども。

○副委員長（加藤敬徳君） 高橋係長。

○農林総務係長（高橋正樹君） こちらの「やはたいも」のほうにつきましては、連作障害が出るというところで、課題になっているところなんですけれども、昨年度から県の中北農務が主体となって連作障害を起こさないような作付の方法で、淡水栽培という水を張った形の栽培、そうすれば、連作、通常は3年、4年で切替えをしなければ、休耕しなければいけないんですけども、そうすれば、1年、2年ぐらい空けて、また作付ができるというやり方があるというところで、今、実証試験をやっているところでございます。

○副委員長（加藤敬徳君） 樋口委員。

○委員（樋口孝之君） よろしく願いいたします。

次に移ります。6ページです。32番。

矢木羽湖公園等維持管理費ということで、昨年より517万714円出ているんですけども、内訳を見ると、この4点で全部4点足すと38万円ぐらいですけど、金額的には517万円出ているんですけども、昨年よりか約300万円増えていると、昨年は200万円ちょっとだと、その辺の原因をちょっと教えていただきたいんですけども。

○副委員長（加藤敬徳君） 森川敷島支所長。

○敷島支所長兼市民地域課長（森川嘉亮君） 決算参考資料の6ページと7ページになりますが、増額の理由でございますが、7ページの一番中段になりますが、工事請負費、南側にトイレがございまして、そのトイレの屋根が経年劣化によって雨漏りがしたため、それを改修する工事を247万5,000円、それと一番上の修繕費ですが、浄化槽の蓋が壊れたということで、その修繕で取り替えたということで増額となっております。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） 樋口委員。

○委員（樋口孝之君） それで200万円、300万円ぐらいかけているということですね。

○敷島支所長兼市民地域課長（森川嘉亮君） そのとおりでございます。

○委員（樋口孝之君） 分かりました。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） ほかにありませんか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 4ページの農林振興整備事業の中で、地域整備計画、策定をしているんですけども、この地域整備計画とは内容的にどんな計画になっているのか説明をお願いします。

○副委員長（加藤敬徳君） 高橋係長。

○農林総務係長（高橋正樹君） この農業振興地域整備計画策定なんですけれども、こちらのほうにつきましては、本市の農業の方針等を検討していく、また、農業振興地域をどこのエリアを守っていくかというところを計画したものでございます。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） この計画を立てて、今後どんな形の地域とか、要は計画を立ててそのことが対象地域の農業従事者にどんな形で伝えていくかと、そういうことはやっているんですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 高橋係長。

○農林総務係長（高橋正樹君） そのとおりでございます。

本市のどこのエリアを守っていくかというところを位置づけておりまして、基本的に農振を除外したいよという申出があった場合に、まとまった場所の中でポツンと外すわけにはいきませんので、連帯した住宅とか駐車場とか、連帯しているところから除外していくという

ような形になります。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） この計画策定のある程度期間があると思うんだけど、これはどれくらいの期間でやるのか。

○副委員長（加藤敬徳君） 高橋係長。

○農林総務係長（高橋正樹君） 期間につきましては、令和4年度に基礎調査を実施いたしまして、令和5年度中に計画書の整備をしております、今、ちょうど県と協議している中で、県のほうでも甲斐市の農業の振興の方針が適性かどうかというのを確認していただいている中で、また、計画の策定が完了しましたら、議会の皆様に説明をしたいと考えております。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そうすると、あくまでもこれは市が今、策定計画をつくって県の認定というか、県の許可を得て、その後に市として策定していくということで、まだ本格的にその計画そのものが決定したということではないということだね。

○副委員長（加藤敬徳君） 高橋係長。

○農林総務係長（高橋正樹君） こちらのほうにつきましては、今、県と協議している最中ということでもありますので、こちらのほうの見直しが5年に一度という形ですので、前回の見直したものを今、使っているという形で予定では11月ぐらいには県との協議が終わるのかなとは考えております。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そうすると、今年度に11月になって、そこから5年というスパンの中で、その計画を進めていくという認識でいいですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 高橋係長。

○農林総務係長（高橋正樹君） こちらのほうの見直しにつきましては、基礎調査から5年という形になっておりますので、令和4年に基礎調査をやっておりますので、令和9年度となっております。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） もう1点、次の5ページの07で新規狩猟免許取得等補助金というの

があるんだけど、これは前年度も補助金で9万5,000円かな、人数はどれくらい受けたのですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 長田係長。

○農林振興係長（長田明久君） 新規狩猟免許取得者の人数ですけど、銃の免許を取った方が1名、銃ですね、鉄砲の免許を取った方が1名。あと普通のわなの免許を取った方が2名となっております。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そうすると、この新規事業の補助金というこの事業で、これはいつから始めた事業だっけ。3年ぐらい前かな。

○副委員長（加藤敬徳君） 長田係長。

○農林振興係長（長田明久君） 平成26年度から始まったものとなります。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） よろしいですか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そうすると、26年からやった事業で、今までにこの事業を活用して取得した人というのは、総数で何人ぐらいになっているのですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 分かりますか。

小宮山課長。

○農林振興課長（小宮山佳浩君） 申し訳ありません。総数は今、手元の資料にはないんですが、令和3年、4年、5年、過去3年のものならあります。

令和3年度が4人、令和4年度が6人、令和5年度が合計3人となっております。申し訳ありません。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） それで、これは鳥獣の被害が山間地であったということで、それを対策するためには猟友会の協力が必要だと、そういう中で、狩猟取得者が少ないということで、この事業ができたと思うんですよね。そういう意味においては、結局、狩猟免許従事者が高齢化しているということが大きな問題だということで、若い人ということをやったんだけど、具体的に年齢層はあれにしても、結局新規にやった、先ほど説明の中にも3年間で十何人いるわけだけど、それと年齢というのは比較的若い人がやっているのか、その辺のところ

は。

この事業が高齢化に対して若手をとという意味合いがあったと思うんだけど、その辺の事業に対する目的と効果というか、そういうものにつながっているかどうか、その辺の見解はどうですか。年齢は分からないか、そんなことないだろう。

○副委員長（加藤敬徳君） 小宮山課長。

○農林振興課長（小宮山佳浩君） 年齢構成、正確な数字がないんですけども、一応、受講者の年代が今、手元にありまして、わなの方は40代、50代の方が数名わなの受講をしております。それから、鉄砲のほうは20代の方が受けておりますので、少数ですけども若い方も入っている状況ではないかなと思っています。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 今、その確認をしたところで、そういった狩猟従事者の取得に対する補助というのは、ある一定の効果があって若返っているというような認識だと思うんですね。大事なことなのでこれ引き続き、この事業をやってもらって、要するに対策につなげてもらえればいいかなというふうに思うので、よろしくをお願いします。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） よろしいですか。ほかはございますか。

金丸幸司委員。

○委員（金丸幸司君） 3ページの農業委員会についてなんですけれども、農地利用最適化推進委員というのは、地域の委員の方々が耕作放棄地とかそういうところの調査をしているのかなと思うんですけど、その下の調査員派遣業務委託ということなんですけど、この農地利用最適化推進委員と調査員派遣は、どういった事業なのかちょっとお願いしたいと思います。

○副委員長（加藤敬徳君） 窪田農業委員会事務局庶務係長。

○農業委員会事務局庶務係長（窪田友昭君） お答えいたします。

農地利用最適化推進委員さんは、地域から選出をさせていただいている委員さんとなります。その下の調査員派遣業務委託の関係につきましては、年に1回、農地法で農地の利用状況を調査しなさいということになっておりまして、それを毎年行っておりまして、シルバー人材センターのほうに委託をして調査員を派遣させていただいております。

○副委員長（加藤敬徳君） 金丸委員。

○委員（金丸幸司君） 調査委員派遣のほうは、シルバーさんを使っているところなんですけど、この農地利用最適化推進委員の方々のお仕事はどんなことをしているのか。私が前に聞

いた時には、地域の耕作放棄地とかを調査してやっているというように聞いたんですけど。

○副委員長（加藤敬徳君） 窪田係長。

○農業委員会事務局庶務係長（窪田友昭君） 農地利用最適化推進委員さん、また農業委員さんにつきましては、耕作放棄地とか農地の利用の促進ということがメインの仕事となっております。

こちらのほうの調査員のほうにつきましては、市内の農地を、全体を調べる形になりますので、農業委員さんや推進委員さんにも行っていただくんですけども、さすがに全部できないということで、一部をシルバー人材センターのほうに委託をしております。

○副委員長（加藤敬徳君） 金丸委員。

○委員（金丸幸司君） 同じような事業というか、調査するんだったら、何でこっちのほうに調査委託して、もう1個のほうでも推進委員さんも同じようなことをしているということなので、何で同じような仕事でこんな2つも分ける必要があるのかなと思ったので、分かりました。承知しました。

もう一つ、4ページの05農業次世代人材投資事業なんですけれども、これは新たに事業を始める方に、されている補助金だと思うんですけど、1人当たりお幾らぐらい補助を出しているんですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 高橋係長。

○農林総務係長（高橋正樹君） 1人当たりにつきましては、1年150万円で3年間、交付することが可能となっております。

○副委員長（加藤敬徳君） よろしいですか。

金丸委員。

○委員（金丸幸司君） 6ページ、18番の地域おこし協力隊です。

報酬、隊員では2名ということなんですけれども、この任期と、この2名の残りの任期または今後、起業等されるのか、ちょっとその辺が分かったら教えてください。

○副委員長（加藤敬徳君） 長田係長。

○農林振興係長（長田明久君） 2人の協力隊の任期についてですが、1人が今年度いっぱい終了となります。もう1人は来年度、もう1年、地域おこし協力隊を行って卒業されるといいう予定となっております。

市内で起業するかどうかというところですけども、1人については未定です。もう1人もまだ来年1年あるので、今からちょっと考えるみたいな形になっております。

○副委員長（加藤敬徳君） 金丸委員。

○委員（金丸幸司君） 分かりました。ありがとうございます。

今後、隊員が入ってくると受付とか申込み期間は決まっているのかお願いします。

○副委員長（加藤敬徳君） 長田係長。

○農林振興係長（長田明久君） 令和7年度から、また新たに1名を募集する予定となっております。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） ほかはありますか。

清水委員。

○委員（清水和弘君） 5ページの7番、有害のことについてお聞きしたいんですけども、先ほど処理件数が、鹿が100頭、イノシシ22頭ということですけども、1頭当たりの処理費はどのくらいになるんですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 長田係長。

○農林振興係長（長田明久君） 1頭当たり1万5,000円となります。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） 清水委員。

○委員（清水和弘君） これは、鹿、イノシシともに同じ単価ですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 長田係長。

○農林振興係長（長田明久君） そのとおりでございます。

○副委員長（加藤敬徳君） 清水委員。

○委員（清水和弘君） 現状は鹿、イノシシということはいわゆる今、北海道なんかでは熊がね、昇仙峡なんかでも熊は出るんだと思いますけれども、非常に有害で危険だということで、1頭当たりの単価が低過ぎるんじゃないかという話がいろいろあって、猟友会のほうで仕事を引き受けないというような事案が出てきていますけれども、今のこの単価ということについて、現状の猟友会のほうから単価の値上げをしてほしいとか、そういった要望は出ていませんか。

○副委員長（加藤敬徳君） 小宮山課長。

○農林振興課長（小宮山佳浩君） 単価が安いんじゃないかという話ですけども、今のところ甲斐市の猟友会の方からは、そういう話は今のところ聞いてはいない状況であります。

○副委員長（加藤敬徳君） 清水委員。

○委員（清水和弘君） ちなみに、これは県下の単価を、他を引き比べて、どのような単価になりますか。

○副委員長（加藤敬徳君） 小宮山課長。

○農林振興課長（小宮山佳浩君） 県の補助事業でありますので、管理捕獲につきましては、それで頭数が決まっているものであります。県から2分の1補助が出ているものでありますから、他の自治体の単価を把握しているかという、今、手元がないんですけれども、多分、同じではないかというふうに思います。すみません。

○副委員長（加藤敬徳君） よろしいですか。ほかありますか。

〔発言する者なし〕

○副委員長（加藤敬徳君） 委員がいなければ、委員外の質問を受けます。

谷口委員。

○委員（谷口和男君） 先ほど伺っていた6ページの地域おこし協力隊なんですけれども、令和5年度は「赤坂とまと」と「黄金千貫」ですか、そちらのほうで研修をするというふうに伺っていたんですけど、今回、黄金千貫を使った焼酎「大弐」の醸造を停止するという事なんです、今後、何の研修をするのでしょうか。

○副委員長（加藤敬徳君） 小宮山課長。

○農林振興課長（小宮山佳浩君） 確かに、サツマイモ「黄金千貫」の栽培は、苗の入手が困難ということで中止となっております。今現在、「赤坂とまと」はもちろん、市内の農耕に関するイベント、あと棚田等の団体への協力等を行っております。

あと「黄金千貫」ではないんですけれども、有機農地を活用して、まだサツマイモの栽培は行っておりますので、そちらのほうも行っている状況であります。

○副委員長（加藤敬徳君） 大丈夫ですか。

谷口委員。

○委員（谷口和男君） それで、令和7年度から1名募集するという事なんですけれども、そちらは、やっぱり「赤坂とまと」とサツマイモということで、棚田とかそれで募集をかけるということですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 小宮山課長。

○農林振興課長（小宮山佳浩君） 今のところ、その農業に関する地域おこし協力隊ということで、募集をかける予定であります。

○副委員長（加藤敬徳君） よろしいですか。ほかございますか。

金丸寛委員。

○委員（金丸 寛君） 土地改良区について確認と当局の見解を伺いたいと思います。

利用土地改良区、予算をしっかりとっていただいて、活動されているという一面と、双葉・敷島地区の農業従事者、この皆さんとの利用土地改良区と、そちらの2地区の扱いといますか、これ非常に差があると思うんですよ、現実には。

これ20年たって農林振興課とかそういったところに配属される皆さんは、そういったその農業者に対する目線というのか、あまりにも欠けている状況が今、続いていると私は思うんですが、一般質問の中でも、たしか保坂委員の質問の中で、それ取り上げました。私も取り上げた経緯もありますけれども、以後、その答弁を伺ったところは今後、その格差といたしますか、扱いの差を解消するような方向で、検討してまいりますという答弁をいただいたと思うんですが、あまりにも市制20年、9月1日に迎えた市の扱いとしては、農業に対する目線があまりにもない。農業政策が非常に貧困だと私は思う。

そういったところを決算で、それを反省して次の予算に組み入れますというような、そういったところを、しっかりした方針、これを示す必要があるんじゃないかなと私は思うんですが、いかがでしょうか。

○副委員長（加藤敬徳君） 金丸委員、すみません。これは決算のところなので、決算に対する、

[「だから決算を見て、決算の中に竜王土地改良区の決算しか入ってなくて、敷島・双葉の中に、利用決算のこれを見て状況を判断しているわけですから、どういう場でどういう確認をして職員の皆さんにも、そういう認識を持っていただくかということをおは言いたいわけ」と呼ぶ者あり]

○副委員長（加藤敬徳君） よろしいですか。では答弁をお願いします。

宮本部長。

○産業振興部長（宮本 裕君） おっしゃるとおり、今、ご質問いただいた内容は、一般質問等でも答弁させていただいたところがございます。

土地改良区の内容につきましては、決算参考資料にありますとおり、竜王土地改良区のほうには補助金として支出をしている部分がございます。そのほかの土地改良区につきましては、一般質問の答弁でもさせていただいたとおり、今年度に入りまして土地改良区のほうに聞き取り調査を行っております。その後、今後、土地改良区のほうから要望という形でい

ただく予定であります。

その要望をいただいたところで、その内容をもって判断をいたしまして、その内容を見ながら今後の内容については検討して、予算に反映するべきところがあれば、それは予算に対応させていただきたいというふうに考えております。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） よろしいですか。

金丸委員。

○委員（金丸 寛君） ぜひ今、おっしゃった方向性、それは守っていただくと同時に過去のこういう20年間の扱い、これも深く反省していただいた上での農業政策というものを取っていただかないと、言われました、はい、20年間ほったらかしたものをこれからやりますというのは、何かの言い訳にしか聞こえないような気がするんですよ、本当に。私も農業をやっていて、それ強く感じます。当局の農業者に対する思いというのが伝わってこない部分がたくさんあるので、もっと寄り添っていただきたい。これ強く要望しておきます。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） よろしいですか。ほかはございますか。

[発言する者なし]

○副委員長（加藤敬徳君） なければ質疑を終了いたします。

これで農林振興課について終了いたします。

時間が来ましたので、少し休憩を取りたいと思います。

10分間休憩ということで、開始は55分開始、よろしくお願いします。

休憩 午前10時45分

再開 午前10時53分

○副委員長（加藤敬徳君） よろしいですか。

それでは会議を再開します。

説明、答弁は簡潔にお願いいたします。なお、要望したい気持ちは分かりますけれども、これは決算の場ですので、極力、質問でお願いいたします。

次に、商工観光課所管の事業について、説明をお願いいたします。

高須商工観光課長。

○商工観光課長（高須秀樹君） それでは、商工観光課及び敷島支所市民地域課が所管いたします、業務の令和5年度決算につきまして、説明させていただきます。

決算書は、100ページ、101ページになります。

説明につきましては、決算参考資料により説明をいたします。

決算参考資料ナンバー7の13ページをお願いいたします。

5款労働費、1項労働諸費、1目労働諸費、ナンバー01労働関係職員費、支出済額640万1,281円、財源は全て一般財源です。

内容は商工労働係職員1人分の人件費であります。

続いて、ナンバー10労働総務費、支出済額3,246万5,450円、財源内訳の国県支出金1,680万円は、山梨県移住支援金交付事業費補助金、その他の60万円につきましては、甲斐市移住支援事業補助金返還金で移住して2年で転出したため、返還されたものであります。

主な内容につきましては、移住定住促進事業として、移住定住ポータルサイト保守業務委託は、甲斐市の移住者向けのホームページである「よっちゃばるかい」の保守委託料。

次の関係人口創出・魅力発信業務委託は、双葉サービスエリア上り線において、特産品やパンフレットを設置したブースを設けるとともに、各地のイベント等に出店し、PRや特産品の販売を委託したものであります。

中央道横断幕点検業務委託、撤去・安全対策業務委託は、中央道歩道橋に本市をPRする横断幕を設置していましたが、劣化が進んだことから撤去及び作業のための交通規制及び安全確保に必要な管理業務の委託であります。

移住イベント参加費は、都内で開催された移住相談会への出展料、旅費4回分であります。

空き家バンクリフォームの補助金は、空き家バンクに登録した物件1件のリフォームのための補助金であります。

移住支援事業補助金は、東京圏から移住し、起業、就業した方に補助金を交付するものであり、単身世帯60万円、2人以上は100万円、18歳未満の子がいる場合は1人につき100万円を加算し、交付をしております。

続いて、令和3年度山梨県移住支援交付事業費補助金返還金につきましては、先ほど財源内訳で触れましたが、本市に移住後2年で転出したため、市から交付した60万円のうち県補助金分45万円を返還したものであります。

続いて、ナンバー12市民保養所委託事業、支出済額100万9,331円、財源は全て一般財源

で事業内容は、市民の保養所として夏に委託契約をしている海の家、山の家の利用に係る経費であります。5年度の利用者数は、973人でありました。

続いて、ナンバー13峡中広域シルバー人材センター補助事業、支出済額1,447万1,000円、財源内訳のその他629万1,000円は、峡中広域シルバー人材センターを構成する中央市昭和町からの負担金であります。事業内容は、シルバー人材センターへの補助金であります。

ナンバー15労働施策推進事業、支出済額300万4,500円、財源内訳のその他300万円につきましては、市が中央労働金庫に、年度当初に勤労者生活安定資金として預託し、年度末に返納される金額であります。事業内容は、市内在住の勤労者への貸付けを行うための生活安定資金預託金及び山梨県職業能力開発協会への法令外負担金であります。

14ページをお願いいたします。

ナンバー16勤労者施設運営委員会費、支出済額1万2,250円、財源は全て一般財源です。勤労青少年ホーム、働く婦人の家、勤労者会館、3施設の運営管理などを審議する委員会委員の報酬であります。

続いて、ナンバー18勤労青少年ホーム管理運営費、支出済額255万7,694円、財源内訳のその他8万6,275円は、施設の使用料収入であります。事業内容は、教養講座の開催事業費と光熱水費、修繕費などの管理費、清掃、警備など管理委託料であります。

続いて、ナンバー20働く婦人の家管理運営費、支出済額496万5,007円、財源内訳のその他67万1,225円は、施設の使用料収入であります。事業内容は、教養講座の開催事業費と施設の管理費及び管理委託料であります。

ナンバー21勤労者会館管理運営費、支出済額7万7,645円、財源内訳のその他7,500円は施設の使用料収入であります。事業内容は、施設の管理費であります。

次に、7款商工費、1項商工費、1目商工総務費です。

決算書は、108ページから111ページになります。

ナンバー01商工観光関係職員費、支出済額7,145万9,774円は、財源は全て一般財源で商工観光課の職員10人分の人件費であります。

ナンバー10商工総務費、支出済額3万2,072円、財源は全て一般財源で郵便料であります。15ページをお願いいたします。

2目商工振興費、ナンバー02商工振興事業、支出済額7,952万8,748円、財源は全て一般財源です。このうち現年分につきましては、4,194万4,949円で主な事業内容として、中小企業・小規模企業振興会議委員13人分の報酬。商工会補助金につきましては、総合振興事

業や小規模事業経営支援事業など7事業に対して、事業費の3分の2以内の補助金であります。

次の小規模企業者経営改善対策資金利子補給と、その下の創業融資に係る利子補給につきましては、小規模企業者または創業者が、県の商工業融資資金や日本政策金融公庫等から借り入れた融資のうち、1年以内に支払った利子の一部を補助するものであります。

次の甲斐市小規模企業者持続化補助金につきましては、市内小規模企業者の持続的な発展を支援するため、経営力向上につながる経費に対し、補助対象経費の2分の1、50万円を限度に補助するもので、市単独の補助事業であります。

1つ飛びまして、ポケットパーク維持管理費は、アルプス通り農林高校の入口交差点北側に設置をしております、ポケットパークのライトアップ維持管理費であります。

企業誘致事業に係る委託料として、一番下になりますが、下今井農工団地用地測量、企業立地ガイドの作成であります。

16ページをお願いいたします。

繰越明許につきましては、支出済額3,758万3,799円で財源は全て一般財源であります。

貨物自動車運送事業者緊急支援事業で、令和5年2月の定例会において、補正したものを繰り越して令和5年度に実施をしたものであります。燃料代の高騰などに伴い、経営を圧迫している貨物自動車運送業者への支援で、大型を含む普通自動車は1台につき10万円、小型自動車は4万円、軽自動車は2万円、合計で424台に対し、補助金を交付いたしました。

ナンバー05価格高騰対策商品券事業、支出済額4億1,078万8,334円、財源内訳の国県支出金2億2,852万6,000円は、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金であります。事業内容は、元気甲斐商品券第4弾事業、商品券の印刷製本などの事務費、各世帯の郵送料、データ抽出、リスト作成のための委託料、商品券の換金代であります。

続きまして、3目観光費、ナンバー10観光推進事業、支出済額1,734万3,066円、財源内訳のその他1万1,986円は「やはたいぬ」LINEスタンプ購入料分配金であります。事業内容の登山道整備委託等事業は、茅ヶ岳、曲岳、太刀岡山、御嶽古道などの登山道整備に係る委託、観光巡回バス運行委託事業は、観光巡回バスとして5月は梅もぎ、6月は桑の実摘み、12月は竜王駅120周年記念イベントに合わせ、市内を巡るコースで計5回運行したものであります。

次のフットパスツアールート活用事業は、「甲斐市ちいさな旅」として市内の歴史や文化など、観光資源を散策する事業として、9回開催をいたしました。

次のマスコットキャラクター着ぐるみ活用事業は、「やはたいぬ」を活用したPR事業で、着ぐるみの派遣業務委託、PR演出の企画運営、PRグッズの作成や年賀状の作成、返信などに係る経費であります。

竜王駅鈴虫会場設営等委託は、竜王駅南北自由通路で開催した「鈴虫の声を聴く甲斐」の会場設営委託料であります。

17ページをお願いいたします。

事業内容2つ目の観光関係PR用品等は、観光パンフレットなどの改定や増刷などの経費であります。

1つ飛びまして、観光関係団体負担金は、山梨観光推進機構など4団体への負担金であります。

竜王駅魅力発信協議会補助金は、協議会が実施をした、竜王駅南北自由通路及び南北駅前のイルミネーション事業や「甲斐てき朝市」、JRと共催しました竜王駅120周年記念イベント開催などの経費に係る補助金であります。

ナンバー11観光イベント事業、支出済額1,123万8,194円、財源は全て一般財源であります。事業内容は、まつり等実行委員会への補助金であります。昨年度は4年ぶりにコロナ禍前の規模で開催をいたしました。

年度末の甲斐市サクラまつりにつきましては、3月24日、日曜日の日中イベントのほか、にドラゴンパークのサクラライトアップを実施しております。

続きまして、13款諸支出金、1項基金費、12目地域振興基金費、決算書につきましては、146ページ、147ページの一番下になります。

ナンバー01地域振興基金積立、支出済額3,097万7,000円は、財源内訳全てその他財源でサテライト双葉場外車券場地元対策費及び基金利子になります。事業内容は、基金利子積立金7万円と競輪、ボートレース、オートレース、地方競馬の4つの公営競技、場外売場に係る事業者からの地元対策費による予算積立金であります。

以上が、商工観光課の決算内容であります。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

○副委員長（加藤敬徳君） 説明が終わりました。

これより説明に対しての質疑を行います。

先に所管の委員の質疑を行います。なお、所管は建設経済常任委員会になります。

質疑はありませんか。

藤原委員。

○委員（藤原正夫君） 16ページの観光費の中のナンバー10観光推進事業の中の登山道整備委託事業80万何がしですけど、今の説明だと茅ヶ岳等とありますけれども、茅ヶ岳ほかにはあるのかどうなのかとか、ちょっと事業内容を教えてほしいと思います。

○副委員長（加藤敬徳君） 上條観光交流係長。

○観光交流係長（上條秀夫君） こちらは、あくまで一例ということでお話のほう、ご説明のほうをさせていただいたわけですが、ほかにも日本遺産の構成文化財であります御嶽古道の上道外道、あとは「ふる里自然観察路」そういったもの全ての整備に係る事業の予算となっております。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） ありがとうございます。

今、この御嶽古道、外道上道それから、自然観察路も入ってということですけども、ちょっとここで御嶽古道について、ちょっと伺いをします。

昨年度は待望の常説寺さんの駐車場にトイレを、登山道道路ということでトイレを設置していただいて、登山道はいろんな方が利用して喜んでいることを聞きました。それで、もう一度、その中の中身をです。お堂の中身、そこには歌川広重の貴重な財産というものがあるわけですから、ぜひ看板をもうちょっと見えるような、また数多くのいろんな歴史の中に、甲斐市の古道というものをもうちょっと大々的に、もっとしていただきたいと思うところですけど、その辺はどうですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 高須課長。

○商工観光課長（高須秀樹君） こちらにつきましては、日本遺産に認定されたということで、少しずつ人も増えてきていると聞いておりますので、また説明版あるいはQRコード等を利用した説明で分かるような、そういった表示というようなことも、今後考えていきたいというふうに思っております。

○副委員長（加藤敬徳君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） ありがとうございます。

とにかく、絵ばかりではなく写真なんかで風景なんかを入れたらどうかというのが、地元の人からも強く要望されているところなんです。そんなこともありますので、ちょっとその点、答えられることがあったらお願いをいたします。

○副委員長（加藤敬徳君） 高須課長。

○商工観光課長（高須秀樹君） 絵につきましては、今、アメリカの方がその絵を所有しているということで、なかなか権利の関係で難しい面がありますので、そういったことからすれば写真などを利用して、ご案内していくというような方法を考えていきたいというふうに思います。

○副委員長（加藤敬徳君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） もう1点、最後です。

その下へ行きますと、竜王駅の魅力発信協議会補助金ということですが、これにはイルミネーションとか朝市、いろいろ入っていると思う。それをまとめてこの値段だと思えますけれども、イルミネーションもしかりですけれども、今、朝市がすごく好評でございます。いろんな月に1回かな、その啓蒙で朝市がかなり盛んになっているんです。

そこで、イルミネーションをただ見るだけということで、これはいいんですけど、こっこの朝市のほうにもうちょっと目を向けてほしいんですけど、その点、答えられたらお願いしたいと思います。

○副委員長（加藤敬徳君） 上條係長。

○観光交流係長（上條秀夫君） 「甲斐てき朝市」の活動につきましては、大変コロナを開けてきて盛況になってきているところで、出店者なんかも令和元年に比べますと、始まった当初は9店舗、令和元年当初は42店舗だったのですが、最新の統計ですと、今、65店舗まで増えているところであります。

「甲斐てき朝市」の運営につきましては、今年度、総会を開きまして会のほうは主体的にやっていくというような形となりました。その中で朝市の会の会長さん、副会長さん、ほとんどボランティアという形で、これまで携わってきていただいたわけですが、今後の後継者を育てていくというようなことを考えたときに、少なくとも毎月々のそういった事務手数料的なものは、払っていったほうがよいよねというようなことで、今年度からはそういったものを支出するような形しております。

また、来年度に向けて、そういった今年度の1年間の活動状況を見ながら、利用駅魅力発信協議会という外郭団体に対して500万円の補助金の支出をしているわけですが、またその内訳を見直していく必要があるのかなというふうには考えております。

今年度、また10月ぐらいに、魅力発信協議会の委員さん全員集めまして、来年度以降の事業計画ですとか、そういったところを、また計画を立てますので、そういったところで考えていきたいというふうに思っております。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） ご答弁ありがとうございます。

ぜひ前向きに、していっているということで安心なことでございます。これは、とにかくボランティアでほとんどやっていることですので、なおかつ予算化していただいて、店舗が今65ですか。100ぐらいになるようなお祭りをして、またこんなふうに思います。ありがとうございます。よろしくをお願いします。

○副委員長（加藤敬徳君） ほかはございますか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 13ページ、10の空き家バンクリフォーム補助金ですが、ちょっと内訳を教えてください。

○副委員長（加藤敬徳君） 伊藤商工労働係長。

○商工労働係長（伊藤仁美君） 内訳ですが、令和5年度は1件となります。

○副委員長（加藤敬徳君） 松井委員。

○委員（松井 豊君） そうすると、上限が100万円ということでしょうか。中身はどんなことをやっているのか、ちょっと参考までに。

○副委員長（加藤敬徳君） 伊藤係長。

○商工労働係長（伊藤仁美君） 上限は100万円で中身について、令和5年度は断熱材の補填をしている工事になります。

○副委員長（加藤敬徳君） よろしいですか。ほかありますか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 13ページの10番の関係人口創出事業ということですがけれども、これは中央道のサービスエリアということですがけれども、これについては実績というか内容の確認とか、その辺のところはどんな形で確認をしているのですかね。

○副委員長（加藤敬徳君） 高須課長。

○商工観光課長（高須秀樹君） こちらにつきましては、委託をしている中で委託が終わりますと、その都度報告をしてどの程度の規模でやったとか、どこで物販等を販売したとかというような報告をその都度上げてもらっています。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 出店業者の委託といっても管理とかは、委託先にやっていると思うん

だけれども、その出店の多いとか少ないとかそういう点については、どんなふうになっていきますか。

○副委員長（加藤敬徳君） 高須課長。

○商工観光課長（高須秀樹君） まず、双葉のサービスエリア上り線でブースを設けておりまして、そのほかに各地で県外等のイベントがありますときには、委託業者したところに派遣をしまして、そこで物販等の販売をし、PRをしているものであります。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そうすると、委託してあそこで県内の業者、あるいは市内の業者、その辺のところの限定はあるの。

○副委員長（加藤敬徳君） 伊藤係長。

○商工労働係長（伊藤仁美君） 基本的には、物販については甲斐市内の業者さんを使っています。委託業者に仕入れをしていただいて、県外のほうに持って行って売っていただいています。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 例年700万円か800万円ぐらいの補助金らしいんだけど、それについて甲斐市内の業者ということですよ。その皆さんが出店することによって経済効果というか、甲斐市の出店業者が出店してよかったとかそれなりに効果というか、売上げが伸びているとか、その辺の出店者の感想とか、そういう点についてはどんなものがあるのか、市のほうではどういう形で捉えているのか、その辺はどうですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 高須課長。

○商工観光課長（高須秀樹君） その都度、報告をいただいております。よく売れるものにつきましては、比較的今後、リピーター等もありますので、その辺は詳しくは調べていないんですけども、売れるものにつきましては、意外とほかのところに行っても売れるようなことで、少しずつですけど口コミで広がっているような、そういった印象は受けております。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） ということは、その出店業者がそれなりに出して、自分たちの事業につながっていて効果があるということが一番大事なところなんだよ。そういうところを出店業者に聞いて、それに基づいて今後どうやっていくかということをやっていく必要があるんじゃないかな。そこが一番大事なところなんで、市として補助金を出しました。それによって、業者が少しでも効果がありましたということを確認するというのが市の責任だと思うん

だよ。

そして初めてここに補助金を出したことが、生かされているということが一番大事なところなんで、その辺のところをしっかりと管理をしながら、こういうことに取り組んでいくことが必要ないじゃないかなと思うんだけど、その辺はどうですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 高須課長。

○商工観光課長（高須秀樹君） おっしゃるとおりで、業者からの報告を受けまして、今後新しいものをまた入れるとか、今、人気あるものをさらに強化するとかというような意見も聞きながら、その辺も取り入れていきたいというふうに思います。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） ぜひその方向でお願いします。

その下の横断幕の点検委託ということで、今年で撤去するという報告があったんだけど、撤去して安全対策をしてそれで終わりなのか。また改めて設置をするのか、その辺はどうなんでしょうか。

○副委員長（加藤敬徳君） 高須課長。

○商工観光課長（高須秀樹君） こちらは、以前、最初、上野原市でこのようなことをやっていて、それをこちらのほうも取り入れたんですけども、中央道の歩道橋に幕をかけているところですけども、それほど効果があるかというのもありまして、劣化をして横断幕が今度落ちてしまうと高速道路を止めるという危険もありますので、今回をもってこれで終わりにしたいと考えております。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） なるほどね。

その下の移住支援事業の補助金ということで、計上してあるんだけど、この事業の内容をちょっと教えてください。

○副委員長（加藤敬徳君） 伊藤係長。

○商工労働係長（伊藤仁美君） 移住支援金の対象者につきましては、直近1年以上かつ直近10年間のうちに累計5年以上、東京23区に在住または通勤していた方が、本市に転入してテレワークとか、県が運営するマッチングサイトを利用して、就職した方に対して支援する補助制度になっております。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） それで、条件があって、それに対してその条件に合致した人に支給す

と思うんだけど、5年度の実績というのはどんな具合ですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 伊藤係長。

○商工労働係長（伊藤仁美君） 5年度につきましては、18件になります。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 分かりました。

14ページの21番、勤労者会館管理運営費ということで、計上してあるんですけど、これは基本的に光熱費がほとんどなんですけど、これについては、この利用者は年間どれぐらいあったんですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 三井敷島環境土木係長。

○（敷島支所）環境土木係長（三井賢治君） 勤労者会館の利用件数なんですけれども、5年度は24件で人数が150人の利用がございました。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） それで、この勤労者会館については、その名前からして法的に必要なものなのかという、そういう部分もあると思うんだけど、この勤労者会館の行政の中の位置づけというのは、どんな形で位置づけてこれを設置しているかな。

○副委員長（加藤敬徳君） 森川敷島支所長。

○敷島支所長兼市民地域課長（森川嘉亮君） 今現在の利用目的でございますが、条例上になります。勤労者の福祉の改善向上を図って、勤労者の福祉運動の進展と事業の拡大など、勤労者のコミュニティーの場として、設置した施設であります。今現在は、利用団体は、文化協会の所属団体とか、敷島猟友会、隣に敷島総合文化会館がありますので、そこに申し込んでちょっとあふれた方がいまして、文化協会の書道部とかそういう方が利用しています。

あとは、地元でも自治会でも利用しているケースということで、通常、職員がいませんので、そういう相談があれば、一応、貸出しのほうはできるんですけど、木造平家建てで和室の会館ですのでちょっと利用状況的に、難しいところがあるのかなというふうに感じておりますが、そんな状況でございます。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） それで、私が思うのは、今後、人口が減ってきます。公共施設、今言った内容については、公民館とか総合文化会館とかああいう部分の施設を使えば可能かなと思う部分もあるんですよ。だから、この点については、総合管理計画の中で公共施設のね、どういう位置づけになっていて今後、これをどういうふうにやっていくのか。

というのは、こういう部分も含めて利用者数の問題、それから、必要経費の問題、そういうものも含めて、やっぱり検討して廃止するものはしていくということを、考えていかないと、このままこれを継続していてもいいのかなということも疑問に思うし、一方では、利用者の意見も聞くことも必要なんだけど、実績を見たときには、十分ほかの施設でも対応できる内容じゃないかなというふうな気がしたので、今、ちょっと聞いているんだけど、その辺はどうですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 高須課長。

○商工観光課長（高須秀樹君） この辺につきましては、当面は個別施設計画の中で継続なんですけれども、今後は廃止、あるいは継続というのも含めて、検討してく必要があるというふうにも考えております。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そんなことで、ご検討願えればというふうに思いますので。

最後ですけど、15ページの一番下、工業団地の用地測量の中で、企業立地ガイド作成等とあるんですけど、企業立地ガイドというのは、どんな内容のものを発行したんですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 藤田企業誘致係長。

○企業誘致係長（藤田 充君） お答えいたします。

企業立地ガイドにつきましては、甲斐市の企業支援、いろんな助成金ですとか、新規立地等に関わる支援制度を紹介したパンフレットを作成しております。昨年度、制度改正や新規の支援制度の策定がありましたので、これに伴う改定を行いました。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） この配布先というか配るところというのは、どんなところへ配っているとか、配布しているの。

○副委員長（加藤敬徳君） 藤田係長。

○企業誘致係長（藤田 充君） お答えいたします。

市役所窓口での配布、あと企業誘致イベントに出店したときの資料としての配布、あとは山梨県の企業立地の支援担当の窓口での配布、あとはアイメッセ山梨にあります協議会の窓口のほうでも配布しております。

あと同じパンフレットのデータを、ホームページのほうにもデータ化して、掲載しております。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） それを発信することによって、何件か問合せとかそういうものはありましたか。

○副委員長（加藤敬徳君） 藤田係長。

○企業誘致係長（藤田 充君） 企業立地の関係で窓口に来られるお客様のほうには、直接お渡しをして、制度の説明をしております。それ以外にも支援制度の問合せというのは、昨年度、数件ありました。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 今、これ重要なところなので、今後、しっかりPRをして結果に結びつくように頑張ってもらえればというふうに思います。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） ほかはありませんか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 14ページの21勤労者会館、内藤委員が大体聞くところを聞いてくれましたので、私も質問するつもりでしたが、意見として述べさせてもらいます。

あそこの問題点は、やっぱり和室コーナーですよ。今、飲み屋さんというか、ああいうところでも、みんな椅子に変えていますよね。お客さんも高齢化してきている。畳の部屋でも椅子を使う仕組みはできますから、予算的には額がかからないので、それもちょっと考えてもらいたいなということで、以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） 答弁はいいですね。

なるべく要望ではなくて、質問でお願いいたします。

ほかありませんか。

金丸幸司委員。

○委員（金丸幸司君） 15ページの02の商工振興事業の中の中小・小規模企業支援体制強化事業ですけれども、この内容はどういうものなのか教えてください。実績について教えてください。

○副委員長（加藤敬徳君） 伊藤係長。

○商工労働係長（伊藤仁美君） こちらについては、商工会の中で決めている事業でありまし

て、主に小規模事業者の経営の技術の改善発達、新規創業経営革新の推進、商工会職員による経営指導員による、個別相談等の支援に関する経費となっております。

○副委員長（加藤敬徳君） 金丸委員。

○委員（金丸幸司君） はい、分かりました。

別でその下の甲斐市小規模企業者持続化補助金ですけれども、これは先ほどの補助率2分の1で市単独の事業だということですが、これは審査等で決定した件数が13件ですが、相談件数はどれくらいあって、そのうちの13件なのか、相談件数者はどれくらいあったか教えてください。

○副委員長（加藤敬徳君） 伊藤係長。

○商工労働係長（伊藤仁美君） 相談件数については、商工会のほうに相談が直接いきますので、実際どのくらいあったか分からないんですけれども、申請は17件ありまして、採択が13件となっております。

○副委員長（加藤敬徳君） いいですか。

金丸委員。

○委員（金丸幸司君） 分かりました。ありがとうございます。

前の決算のときも言ったんですけれども、募集期間が令和6年だと、今年度だと6月17日から7月31日になっているんですけど、期間を設けなくて途中から、こういった補助金を使いたいという方もいるかと思うんですよ。前回、私も1人の方から相談を受けたら申込期間が決まっているんだということで、その方は半年待ってまた年度になったら申請をしたということなんですけど、もうちょっと申請の期間で、自由にできないものかちょっと教えてください。

○副委員長（加藤敬徳君） 高須課長。

○商工観光課長（高須秀樹君） こちらにつきましては、若干内容が違うんですが、国や県も出しています、別個で。国や県についても期間を決められて、その期間で出して交付している状況で、市の場合につきましても、国や県でいただけなかった業者につきましても、拾うというような形で設けております。

今後、期間につきましては、商工会とも相談しながら現状どおりにするか、あるいはもう少し変えていくかというようなことも、考えたいと思っておりますけれども、予算にもある程度限界がありますので、その辺はまた、検討していきたいと考えます。

○副委員長（加藤敬徳君） ほかがございますか。

樋口委員。

○委員（樋口孝之君） 13ページをお願いします。

先ほども10番で移住支援事業補助金ということが、先ほどの質問もあったんですけども、今回18件あったということで、前年度より2.5倍ぐらい増えているということで、それはやっぱり件数が増えたから2.5倍になったんですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 高須課長。

○商工観光課長（高須秀樹君） この移住支援につきましては、国の制度にのっとって補助金を出しておりますけれども、だんだんその制度が浸透してきておりますので、どんどん今、増えている状況であります。

○副委員長（加藤敬徳君） 樋口委員。

○委員（樋口孝之君） 参考に、前年度は何件ぐらいだったんですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 伊藤係長。

○商工労働係長（伊藤仁美君） 前年度は10件です。

○副委員長（加藤敬徳君） 樋口委員。

○委員（樋口孝之君） 分かりました。

次のところにいきます。12番にいきます。

市民保養所委託事業ということで、先ほどの説明で973名あったということですけど、私も今回利用させていただきました、北アルプス民生委員ということで。

そうすると973名ということは7万6,000人の中で、900少ないなと思ったんですけど、その辺、広報でこういうことあるよ、新潟の海があるよ、静岡の海があるよということで、私も静岡の海へ、静波へ行ったんですけど、要望ですけど市民にもっと利用していただくようにしていただきたいなと思いますけど、その点、感想をお願いします。

○副委員長（加藤敬徳君） 高須課長。

○商工観光課長（高須秀樹君） こちらにつきましても、コロナを経まして、また持ち直している状況ですので、今後もそういった周知の方法というのを考えていきたいというふうに思います。

○副委員長（加藤敬徳君） 樋口委員。

○委員（樋口孝之君） 最後に、観光イベント事業の17番、甲斐市の一番大きな、甲斐市サクラまつり実行委員会ということで、前年度は雨で今年度はちょっとサクラが咲いていなかったということで、そんなことで、ちょっと参考に今年度どのくらいの参加者があったのか、

お願いしたいと思います。

○副委員長（加藤敬徳君） 上條係長。

○観光交流係長（上條秀夫君） 当日のデイイベントの来場者数は、おおよそ駐車台数と実際の車の量と、あと会場のにぎわいから5,000人ということで集計のほうをさせていただいております。

あとは、期間中、残念ながら桜のほうには恵まれなかったのですが、ライトアップをやっております。デイイベントの翌日から4月3日までの予定だったのですが、桜が咲いていなかったということで、業者さんに相談したところ、1週間延長してもいいよというふうに言っていただきましたので、4月10日までライトアップを行いました。そちらのほうは期間中に1,154人ということで、合計6,154人というふうに公表のほうはさせていただいております。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） 樋口委員。

○委員（樋口孝之君） ありがとうございます。

これ大イベントですから、いつも課長とも話しているんですけども、何か甲斐市でも昭和町とかにも負けないような目玉商品呼んでいただいて、参加人数を増やしていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） ほかはよろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

○副委員長（加藤敬徳君） じゃ所管以外の委員の質問を受けます。

滝川委員。

○委員（滝川美幸君） 14ページの労働費の16番なんですけれども、勤労者施設の運営委員さんの会費についての欄で、講演施設というのは、ここのは特に3施設か4施設まとめた運営委員さんでしたよね、先ほどの説明だと。その中で、前年度までは7人の委員さんだったんですけれども、昨年度は4人に減っているということで、こういうものは全て条例に基づいて決まっているのかなと思っていたのですが、このように運営委員さんの人数の増減というものが有り得るということなんですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 伊藤係長。

○商工労働係長（伊藤仁美君） 委員さんについては10人以内ということで決められていま

して、現在も7名なんですけれども、令和5年度、会議に出席した委員さんが4名ということで、その報酬になります。

○副委員長（加藤敬徳君） ほかにはございますか。

谷口委員。

○委員（谷口和男君） すみません、16ページの観光推進事業で、マスコットキャラクター着ぐるみ活用事業でやはたいぬ君の着ぐるみとか、ふわふわ遊具とか見たことあるんですけども、それ以外、何かキャラクターを活用するような事業はやっているのでしょうか。

○副委員長（加藤敬徳君） 上條係長。

○観光交流係長（上條秀夫君） こちらのほうなんですけど、派遣事業に加えまして、あとはやはたいぬグッズの企画だとか開発、またそういったものを配布とか、そういったものを全て含めての金額になっております。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） 谷口委員。

○委員（谷口和男君） やはたいぬ君、結構子供に人気があって、人が集まってくるんですけども、もうちょっとアピールしたい、例えば篠原地区公園もこども広場とかできるじゃないですか、あんなところにモニュメントをたくさん設置するとか、何か特徴になると思うんですけども、そういうような考えというのはないのでしょうか。

○副委員長（加藤敬徳君） 高須課長。

○商工観光課長（高須秀樹君） 今のところモニュメントというものは考えておりませんけれども、いろんなグッズの中、あるいはいろんなチラシとかを含めて、中にやはたいぬを入れるということにつきましては、申請をいただければ全て許可をしておりますので、そういったところでより広めていきたいというふうに思います。

○副委員長（加藤敬徳君） ほかありますか。

金丸寛委員。

○委員（金丸 寛君） 1点お願いします。

17ページ、諸支出金の中でサテライト双葉さんからの入金積み立てられているということで、この積立残高というのがどのくらいあるか。その積み立てられたお金というのはどのような使い方をされるのか、その2点お願いします。

○副委員長（加藤敬徳君） 伊藤係長。

○商工労働係長（伊藤仁美君） 残高については、令和5年度末で2億1,626万2,000円ぐら

いなんですけれども、こども医療費のほうに充てさせていただいております。

○副委員長（加藤敬徳君） 金丸寛委員。

○委員（金丸 寛君） 全額こども医療費のほうに使っているという理解でよろしいかな。

○副委員長（加藤敬徳君） 伊藤係長。

○商工労働係長（伊藤仁美君） 入金されている部分については全額なんですけれども、預金の利子の分については積み立てていく形となっております。

○副委員長（加藤敬徳君） ほかはございますか。

若尾委員。

○委員（若尾彰子君） 13ページの移住支援事業なんですけれども、令和5年度は18件ということなんです、移住された方の年代だとか、お子さんの数だとか分かればお願いいたします。

○副委員長（加藤敬徳君） 伊藤係長。

○商工労働係長（伊藤仁美君） 令和5年度につきましては、18世帯37名で、子供の18歳未満の方については9名となっております。

○副委員長（加藤敬徳君） 若尾委員。

○委員（若尾彰子君） 移住促進、各自治体がいろいろやっている、その対象も様々だとは思いますが、甲斐市の首都圏に向けてイベントを打っていくときのターゲットというのはどういった層をターゲットにしているのでしょうか。

○副委員長（加藤敬徳君） 伊藤係長。

○商工労働係長（伊藤仁美君） 特にターゲットは決めていないんですけれども、相談いただく中では、幅広い年代、今から小学校に上がるタイミングで移住したいという方もいらっしゃいますし、一旦仕事をもう終えられて移住されたいという方もいらっしゃいますので、年代は様々になっております。

○副委員長（加藤敬徳君） ほかありますか。

[発言する者なし]

○副委員長（加藤敬徳君） なければ、委員の質疑を終了します。

これで商工観光課について終了します。

これで午前の部は終了しまして、午後の再開は午後1時10分より再開いたします。

休憩 午前11時42分

再開 午後 1時08分

○副委員長（加藤敬徳君） 会議を再開します。

説明、答弁は簡潔にお願いします。

次に、建設課所管の事業について説明をお願いします。

芳賀建設課長。

○建設課長（芳賀康貴君） 大変お疲れさまです。よろしくお願ひいたします。

それでは、建設課の令和5年度の決算内容につきましてご説明させていただきます。

建設課関係の決算書につきましては108ページから115ページ、118ページから119ページ及び144ページから147ページになります。

説明につきましては、決算参考資料ナンバー8に基づきましてご説明申し上げます。

それでは、決算参考資料の3ページをお願いします。

6款農林水産業費、3項土木調査費、1目地籍調査費であります。ナンバー01地籍調査費につきましては、支出済額691万4,229円で、財源内訳の国県支出金につきましては地籍調査事業費補助金として、国庫分342万円、県分171万円の計513万円で、それ以外は一般財源となります。事業内容につきましては、吉沢地区0.33平方キロメートルの地籍調査事業業務委託等であります。

次に、8款土木費、1項土木管理費、1目土木総務費、ナンバー01土木管理関係職員費につきましては、支出済額1億846万729円で、財源内訳は全て一般財源になります。内容につきましては、都市建設部長と建設課職員を合わせた16人分の人件費であります。

次に、ナンバー02土木管理関係会計年度任用職員等費につきましては、支出済額1,028万6,902円で、財源内訳は一般財源になります。事業内容につきましては、市道などの補修管理を行う作業員の人件費で、竜王、敷島、双葉各地区2人ずつの体制で6人分となります。

続きまして、ナンバー10道路台帳管理事業につきましては、支出済額770万円で、財源内訳は一般財源であります。事業内容は、道路台帳補正業務委託料として新しく市道に認定した道路や拡幅整備をした道路など、延長6.86キロメートルについての道路台帳補正業務であります。

次に、ナンバー11道路維持管理事業につきましては、支出済額2,570万4,460円で、財源内訳のその他につきましては道路専用料で、それ以外は一般財源となります。事業内容につ

きましては、道路維持管理費は消耗品、道路照明の電気料などで、市道街路樹等管理委託は市道の街路樹剪定等の管理委託であります。また、除雪等重機借上げは道路側溝等のしゅんせつ、積雪時の除雪に関わる経費で、緊急道水路改修工事は道路の陥没や施設の破損等に対し早急に対応する工事費であります。

4 ページをお願いいたします。

次に、ナンバー12土木総務事業につきましては、支出済額4,815万5,565円で、財源内訳の国県支出金につきましては、国庫補助金の社会資本整備総合交付金509万4,000円、県補助金278万7,520円の計788万1,520円で、市債につきましては防災減災国土強靱化緊急対策事業債、また、その他の財源につきましては公共物使用料、国有河川占用料等で、それ以外は一般財源となります。なお、財源内訳各項目の下段には令和4年度からの繰越明許分の金額を記載しております。事業内容につきましては、篠原地区公園調整池ポンプ電気料等のほか、分筆登記等に伴う測量委託料、甲斐市木造住宅耐震診断事業実施要綱に基づく木造住宅耐震診断業務委託、市内の空き家を除却するものに対して補助する空き家除却事業費補助金、そして山梨県が行う敷島・中村地区と双葉・つくし野地区の崩壊対策事業に係る県単独急傾斜地崩壊対策事業に伴う負担金であります。

5 ページをお願いします。

次に、ナンバー13竜王駅維持管理事業であります。支出済額2,648万397円で、財源内訳のその他財源につきましては、竜王駅南北自由通路使用料、竜王駅前広場使用料、竜王駅前広場占用料、それ以外は一般財源となります。事業内容につきましては、南北自由通路駅前広場維持管理費のほか、南口駅前広場防犯カメラ設備更新工事等及び南北自由通路清掃委託、火災報知機や駅前広場の短時間駐車場の精算機補助などの南北自由通路駅前広場保守委託、そして南北駅前広場及び駐輪場の整備、清掃などの駅前広場内清掃及び自転車等整理業務委託であります。

次に、ナンバー14狭あい道路拡幅整備事業につきましては、支出済額1,834万7,513円で、財源内訳の国県支出金につきましては国庫補助金の社会資本整備総合交付金820万5,000円、市債につきましては公共事業債で、それ以外は一般財源となります。事業内容につきましては、道路拡幅事業に伴う用地取得、物件移転補償などあります。

次に、ナンバー17塩崎駅維持管理事業につきましては、支出済額363万2,240円で、財源内訳のその他財源は、塩崎駅前広場使用料で、それ以外は一般財源となります。事業内容であります。駅トイレ維持管理経費のほか、駅周辺清掃及び自転車等整理業務委託料などで

あります。

6 ページをお願いします。

次に、ナンバー50都市建設部公用車維持管理事業につきましては、支出済額142万4,176円で、財源内訳は全て一般財源となっております。事業内容につきましては、昨年度、都市建設部が管理している公用車12台に係る維持管理料であります。

次に、2目地籍管理費、ナンバー01地籍管理事業につきましては、支出済額200万719円で、財源内訳のその他財源は地籍手数料で、それ以外は一般財源となっております。事業内容につきましては、国土調査の成果の修正に伴う測量及び登記書類作成などの業務委託であります。

7 ページをお願いします。

次に、2項道路橋梁費、1目道路維持改良費で、ナンバー01道路維持改良事業につきましては、支出済額5,835万5,000円で、財源内訳は全て一般財源となっております。事業内容につきましては、各自治会からの要望等による道路の小改良工事、小補修工事及び各種の補修工事であります。

次に、ナンバー02土木舗装事業につきましては、支出済額3,329万3,700円で、財源内訳の市債につきましては合併特例債で、それ以外は一般財源となります。事業内容につきましては、市道の舗装工事であります。

8 ページをお願いします。

次に、2目道路新設改良費、ナンバー01道路新設改良事業につきましては、支出済額1億8,190万4,252円で、財源内訳の国県支出金につきましては社会資本整備総合交付金、道路交通安全施設等整備事業補助金で、また市債につきましては合併特例債、公共事業等債、それ以外は一般財源であります。なお、財源内訳各項目の下段には令和4年度からの繰越明許分の金額を記載しております。事業内容につきましては、市道の改良工事のほか、道路改良等測量設計委託、市道改良工事に伴う用地取得、分筆登記委託料、事務費などあります。

次に、3目橋梁維持改良費のナンバー01橋梁長寿命推進事業につきましては、支出済額1億4,599万900円で、財源内訳の国県支出金につきましては道路メンテナンス事業費補助金、市債は合併特例債で、それ以外は一般財源であります。事業内容につきましては、橋梁等点検業務委託のほか、新竜王跨線橋の橋梁補修詳細設計業務委託、そして竜王赤坂橋ほか1橋の橋梁補修工事及び修繕工事を実施しております。

9 ページをお願いします。

次に、3項河川費、1目河川維持改修費のナンバー01河川維持事業につきましては、支出済額2,248万2,900円で、財源内訳は全て一般財源となっております。事業内容につきましては、自治会からの要望に伴う河川、水路の小改良、小補修工事であります。

次に、ナンバー02河川改修事業につきましては、支出済額5,366万2,400円で、財源内訳は、市債が合併特例債と緊急支援災害投資対策事業債で、それ以外は一般財源であります。事業内容につきましては、河川、水路の改修工事のほか、委託料としまして中下条地内の浸水対策に伴う水路詳細設計業務委託を実施しております。

次に、5項住宅費、1目住宅管理費ですが、決算書は118ページ、119ページとなります。

ナンバー01市営住宅管理事業につきましては、支出済額6,627万6,642円で、財源内訳の国県支出金につきましては社会資本整備総合交付金、その他財源は住宅使用料現年度分と過年度分の一部、市営住宅内行政財産使用料、土木手数料及び市営住宅火災保険金で、それ以外は一般財源であります。事業内容につきましては、田中団地1号館1の13号室改修工事、泉尻団地受水槽ポンプ取替え工事、川辺町団地給排水管改修工事、甲斐市住宅マスタープラン・市営住宅長寿命化計画策定業務委託、川辺町団地給排水管改修工事管理業務委託等のほか、市内12か所の市営団地の施設維持管理事業を実施しております。

決算参考資料10ページをお願いします。

次に、11款災害復旧費、2目公共土木施設災害復旧費、1目公共土木施設災害復旧費がありますが、決算書につきましては144ページ、145ページとなります。ナンバー01現年度公共土木施設災害復旧費につきましては、公共土木施設災害がありませんでしたので支出はございません。

次に、13款諸支出金、1項基金費、7目市営住宅事業基金費になりますが、決算書につきましては146ページ、147ページになります。

ナンバー01市営住宅事業基金積立につきましては、支出済額4万7,000円で、財源内訳のその他財源は利子で、事業内容につきましても基金利子積立金であります。

以上が建設課の令和5年度決算の内容となります。よろしくお願いたします。

○副委員長（加藤敬徳君） 説明が終わりました。

これより説明に対して質疑を行います。

先に所管の委員の質疑を行います。なお、所管は建設経済常任委員会になります。

質疑はありませんか。

藤原委員。

○委員（藤原正夫君） 7ページ、01の道路維持改良事業の中で、市道小改良と補修工事71件とありまして、それは今の説明だと自治会等の要望ということですが、またちょっと飛びますけれども、同じことだと思います、9ページの01河川維持事業、河川のほうも自治会要望ということで33件ですが、そこで併せて、これ令和5年度の自治会要望、大枠、優先順位ということもありましようけれども、どのぐらいの割合で工事が進められていたか、ちょっとお知らせ願いたいと思います。よろしくお願いします。

○副委員長（加藤敬徳君） 芳賀建設課長。

○建設課長（芳賀康貴君） 令和5年度の要望数なんですけれども、3地区合計になりますけれども、118件要望をいただいています、工事の執行した件数は、5年度の要望に対して46件行っております。

○副委員長（加藤敬徳君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） 5年度118件で、46件かかったということで、令和5年度が46件ということですから、まだまだ4年度、3年度のは持越しというものがあるかと思います。そこで、午前中、農林のほうで私話をしたんですが、8月7日の集中豪雨がありまして、大きい河川は除いても、いろんなところの町の中でも小規模な道路、水路というのが氾濫して、かなり床上、床下、つかったところが多いと思いますけれども、ちょっと把握しているだけで、分かる数字でいいんですけれども、大体何件ぐらい被害に遭ったということはわかりますか。例えば床上が何件とか、そういうのはまだ把握していないですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 芳賀建設課長。

○建設課長（芳賀康貴君） 防災危機管理課のほうでは把握しているんですが、うちのほうは道水路ですから、ちょっと分らないので。

○副委員長（加藤敬徳君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） 申し訳ございません。

そこで、今からいろんな形の中で緊急のこともあろうと思いますけれども、ぜひこのところについて、今これ決算ですから、来年度についていろんな形の中で管理者ごとで、ここだけはどうしてもやらんとということはあるかと思いますが、そんな心構えがあるかどうかお聞きしたいと思います。

○副委員長（加藤敬徳君） 芳賀建設課長。

○建設課長（芳賀康貴君） 当然、緊急性のあるものはすぐやらなければいけないと思っていますし、今回の災害で出たものについても早急に復旧しなきゃならないので、その辺は優先

してやっていきたいと思います。

○副委員長（加藤敬徳君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） よろしくお願ひします。

もう1点、ちょっと変えまして、5ページの狹隘道路のことについてお伺いをいたします。

これ2件あったということで、竜王地区、万才のあれですけども、この中で金額が大きい国県補助金の中に、社会整備事業というのと市債を使ってこれだけの工事をしたんですけども、ただ、一般財源が378万で、あとは全部補助金という形なんですけれども、この378万の一般財源はどこに使われているんですかね。そこをちょっとお聞きしたいです。

○副委員長（加藤敬徳君） 芳賀建設課長。

○建設課長（芳賀康貴君） 社会資本整備交付金なんですけれども、これは国費が2分の1出ます。市債はほかに充てるところがあるんですけども、それに該当しない部分も出てきますので、それが一般財源となっています。

○副委員長（加藤敬徳君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） 分かりました。該当しない部分。

内容を見ると、物件補償やら何だというのはほとんど補助金で賄えるということですよ。そうなりますと、1,800万ぐらいのこともただの一般財源が400万円で済むということは、かなりいろんなところに狹隘道路というのがあると思いますので、できたら要望されたところを優先的にやるということができないかということをお聞きしたいですけれども。

○副委員長（加藤敬徳君） 芳賀建設課長。

○建設課長（芳賀康貴君） 狹隘道路のこの事業なんですけれども、一応、令和8年度までは社会資本整備総合交付金の中にあるんですけども、それ以降がちょっと不明なものですから、それは国の動向を見ながら、また周知していきたいと思っています。

○副委員長（加藤敬徳君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） 最後です。令和8年度までということですね、それ以降はどうなるか分からないと。

○副委員長（加藤敬徳君） 芳賀建設課長。

○建設課長（芳賀康貴君） 訂正させてください。7年度までです。

すみません。

○副委員長（加藤敬徳君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） 了解しました。よろしいです。

○副委員長（加藤敬徳君） ほかはございますか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 3 ページ一番下です。11の中で市道街路樹等管理委託ですが、管理内容と委託先をちょっと確認したいので、教えてください。

○副委員長（加藤敬徳君） 中込建設管理係長。

○建設管理係長（中込 聡君） こちら市道街路樹等管理委託になりますけれども、内容としましては街路樹の選定、伐採また支障木除去、除草作業等になります。件数としましては19路線、小木5か所等の作業のほうを実施しております。業者につきましては、市内のパティオ造園、敷島緑化土木、横森造園、窪田造園、柳本土木、峡北森林組合、またシルバー人材センターになっております。

○副委員長（加藤敬徳君） 松井委員。

○委員（松井 豊君） 1つ伺いますが、市道の上に雑木がかなり伸びてきて、通行にもちょっと邪魔になるところも結構あるんですが、その伐採はこの管理の中には入るんでしょうか、それとも個人になる。

○副委員長（加藤敬徳君） 芳賀建設課長。

○建設課長（芳賀康貴君） 基本的には、市道の街路樹につきましては市のほうでやるようにしているんですけれども、やっぱり大きい通りとか、そういうところを優先してやっていますので、その辺、順番にやっていきたいとは思っています。

○副委員長（加藤敬徳君） ほかありますか。

樋口委員。

○委員（樋口孝之君） 3 ページの11番、道路維持管理費で、たしか昨年度は道路補修作業員というのが何人かいたということを記憶している、ここにはうたっていないんですけれども。それはなくなったのか、違うほうへ移ったのか、ちょっと教えてください。

○副委員長（加藤敬徳君） 芳賀課長。

○建設課長（芳賀康貴君） その2つ上の欄になるんですけれども、これが作業員6名分の人件費になっております。

○副委員長（加藤敬徳君） 樋口委員。

○委員（樋口孝之君） じゃ次に移らせていただきます。

この同じ3 ページですけれども、除雪等重機借上げというのは、最近、暖冬で、雪も15センチ以上はあまり降らないんですけれども、もうこれ年間契約をしちゃっているというこ

とですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 中込係長。

○建設管理係長（中込 聡君） こちらに記載してあります除雪等重機借上げの費用の中には、除雪作業車の借上料、また先ほど作業員さんのお話が出ましたが、作業員さんが使うダンプのリース料、またLED街灯のリース料も含まれた金額になっております。

除雪作業の重機借上げになります、年間ではなく、大雪が降った場合に借り上げて支出をしているものになります。

○副委員長（加藤敬徳君） 樋口委員。

○委員（樋口孝之君） 420万があるんですけども、その辺の使った内訳が分かれば、簡単でもいいですけどもお知らせいただきたいんですけども。

○副委員長（加藤敬徳君） 中込係長。

○建設管理係長（中込 聡君） 内訳になりますが、今年の2月と3月に降った雪の際に除雪作業のほうを依頼しまして、そちらの費用が288万3,550円ほど支出しております。また、そのほかに作業員の使用するダンプのリース料としまして169万8,840円、LED街路灯のリースとしまして70万6,340円、そのほかに支障木除去作業に伴い高所作業車の借上げを行っております、そちらが2万2,000円、トータルで531万310円になります。

○副委員長（加藤敬徳君） 樋口委員。

○委員（樋口孝之君） ありがとうございます。

一番下の緊急道路水路改修工事ということですけども、私も一般質問させていただいて、なかなかこの緊急道路とか、水路とか道水路の改修率が悪いと。この間、パーセントで言ったら何%だと言ったら、25から30%と。ほとんど繰り越しているということで、要望ですけども、こういう緊急の改修が出たら、効率よく前年度になるべく残らないように改修の計画をしてほしいと思います。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） ほかありますか。

金丸幸司委員。

○委員（金丸幸司君） 4ページの土木総務事業の中の木造住宅耐震改修補助金6件、診断が委託で12件ということなんですけれども、すみません、これもう一度確認ですけども、1件当たりの補助金の増減額ってどのぐらいだったか。あと、要件について教えてください。

○副委員長（加藤敬徳君） 塚田建設総務係長。

○建設総務係長（塚田英仁君） お答えします。

木造住宅の補助金につきましては、まず耐震診断をしていただきまして、1.0未満の診断結果が出ていたものが該当になってきます。あくまでも、その前に56年5月31日以前に木造で建てられた住宅がまず基本になってきます。そこで1.0未満の診断結果が出たものについて改修、建て替え等が対象になりまして、補助の上限は100万円になります。

○副委員長（加藤敬徳君） 金丸委員。

○委員（金丸幸司君） もう1点ちょっと聞きたい。

最近、シェルターとかあるかと思うんですけども、シェルターだと家の中を片付けたりしなきゃならなくて、なかなか独り暮らしだと大変だということで、ベッドみたいなものがある、それも補助の中に含まれているのかどうか、ちょっとお願いします。

○副委員長（加藤敬徳君） 塚田係長。

○建設総務係長（塚田英仁君） 耐震ベッドも同じシェルターの扱いになりますけれども、今年度から対象になっております。

○副委員長（加藤敬徳君） 金丸委員。

○委員（金丸幸司君） 今年度からということですね。だから、6年度から実施していくということ。

○副委員長（加藤敬徳君） 塚田係長。

○建設総務係長（塚田英仁君） シェルター自体は前からあるんですけども、ベッドというと本当に簡易的にベッドの上を覆っているものが新たに対象になりまして、その部分につきましては今年度からという形になっております。

○副委員長（加藤敬徳君） 金丸委員。

○委員（金丸幸司君） 最後、9ページの河川維持事業で、先ほど自治会から出た令和5年度の要望118件のうち46件が実績ということなんですけれども、これ令和5年の改修する前に調査というか、設計業務があるんですけども、それらはちゃんとやっているのか、ちょっとその辺。

○副委員長（加藤敬徳君） 芳賀課長。

○建設課長（芳賀康貴君） この道路維持、河川維持に関しましては、ほとんど職員が設計していますので、その辺はすぐ設計をして、すぐ発注するという体制で行っております。

○副委員長（加藤敬徳君） 金丸委員。

○委員（金丸幸司君） 近年の大雨で課長のほうにもいろんなご相談させていただいているん

ですけれども、かなり水を扱うことはすごく難しいなんて全国的にも言われていて、そうになると、調査してもなかなか、設計とかをすると逆に莫大な費用とか時間もかかってしまうと思うんですけれども、そうは言いましても、実際起きているケースもありますので、着実に進めていくようにご尽力をお願いします。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） ほかはありますか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 3ページの10番、道路台帳補正業務委託というのがあるんですけれども、この台帳の業務委託というのは、内容的にどんな業務の内容を委託するのか。

○副委員長（加藤敬徳君） 塚田係長。

○建設総務係長（塚田英仁君） こちらにつきましては、開発等で行った道路等を含めた市道認定をされた道路につきまして、毎年度、新たにその部分が増えたことによって道路の台帳の整備を行っていくという形になります。同じく、改修等を行った部分の若干補正が出た部分についても台帳の整備を行っていくという形になります。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そうすると、この内容的には、当然、今の説明の中で、これが今開発の部分の道路延長の部分等を含めて、ほかの部分もこの中に含まれる可能性もあるということだね、ほかの道路の関係、何か改良したとか、延長したとかってそういうのがあって、というのは、聞きたいのは、市がやるのと、それから開発によって道路認定があると、その部分と両方完備されたものがこの距離かという、そういう話。

○副委員長（加藤敬徳君） 芳賀課長。

○建設課長（芳賀康貴君） おっしゃるとおりで、開発も含まれますし、甲斐市の中で拡幅工事を行ったものとか、それも含めて道路台帳の整備になってきます。去年はバス通り廃棄道の移管がありましたので、ちょっと金額が大きくなりますけれども、基本的には市の関わるもの全ての道路になります。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そうすると、これについてはその年度、年度で、要するにキロ数が増えるという形の中で修正をしていくということですね。はい、了解です。

次に、4ページの空き家データ構築業務委託、これは空き家データというのは今言った内

容での委託をするんですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 塚田係長。

○建設総務係長（塚田英仁君） お答えします。

こちらの空き家データの構築業務につきましては、前に行われました空き家の実態調査の紙ベースの資料のデータを、現在運営している統合型のGISに搭載するというような形で構築の業務委託になります。こちらを構築することによって、庁舎内で関係部署が全て見えるような形になるような構築になっております。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そうすると、今の説明だと、例えば建設課とか農林振興課とか、そういった部分の横断的な部分でこのデータは活用することということだね。

○副委員長（加藤敬徳君） 芳賀課長。

○建設課長（芳賀康貴君） おっしゃるとおりで、商工の空き家バンクとかもありますので、そういうところが横のつながりを持って見れるようにしていく構築業務になっています。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そうすると、この構築したデータそのものは、例えば一般市民が見たいというふうな状況があれば、それは公表できるというか、そういう状況にはなっているの。そうじゃない。

○副委員長（加藤敬徳君） 塚田係長。

○建設総務係長（塚田英仁君） 今、基本的には個人情報も含んだ形になりますので、あくまでも空き家対策等の関連部署として見れるというような形で、今の段階ではそういうことになっております。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 了解です。

同じく4ページの省エネ住宅普及事業補助金とあるんですが、この内容を説明してください。

○副委員長（加藤敬徳君） 塚田係長。

○建設総務係長（塚田英仁君） こちらにつきましては、一般住宅に省エネ住宅という形でZEHの対象という形になった住宅について補助を出しているという形になります。あくまでも省エネだけですと対象にならないんですけれども、ZEH対象という形で国の補助金を受けている、交付決定があるか、もしくはBELSというところのZEHで認証していただ

るという証明がある住宅について補助をしているという形になります。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 5年度の実績というのはどのぐらいですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 塚田係長。

○建設総務係長（塚田英仁君） 実績につきましては、88件になります。一般住宅が84件で、マンションもZEHの対象という形で、4件あるものについては対象になりますので、マンションとかアパートが4件という形になります。全部で88件になります。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そうすると、88件なんだけれども、この申請の認定をする条件とか、それから申請をしたけれども駄目だったという、そういうことはありますか。

○副委員長（加藤敬徳君） 塚田係長。

○建設総務係長（塚田英仁君） まず、申請につきましては、建築物が事業が完了して引渡しを受けた日の翌日から1年以内が申請期日になっております。今言う駄目だったということは基本、まず申請の段階でお話を受けて、そこでそういう証明書や交付決定があるものを確認しておりますので、今のところほぼほぼと言ったらおかしいですけども、対象の方が申請をしていただいている状況になります。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そうすると、市が関与する部分ではなくて、あくまでも建てた事業者がそれに基づいて申請をして、それが良ければ市が決定をすると、そういう流れでいいんですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 塚田係長。

○建設総務係長（塚田英仁君） お話を受けて、今言う対象になる住宅、まず1年以内、そういうものも含んで、あとは市の市税に滞納がないというのが条件になっておりますし、暴力団ではないという、そういうものも調査の要件になりますので、まずは基本のものが該当になったときに申請を上げていただくんですけども、そのほかを調べて決定を出しておりますので、そうは言っても対象になっている状況です。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 了解です。

7ページ、01の区画線補修工事というのが5件あるんだけど、これはどこの区画線をやったんですか。

- 副委員長（加藤敬徳君） 芳賀課長。
- 建設課長（芳賀康貴君） 市内全域になるんですけれども、通学路の関係で合同提携もやっていますので、そういうところを優先してやっております。
- 副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。
- 委員（内藤久歳君） それで、場所によっては消えちゃったとか、そういう情報と、区画線の補修をするタイミングとか判断とか、その辺のところというのは一般市民からのものもあるのか、あるいはまた職員が見てやるのか、その直す基準というか、そういう判断はどんな形でやっているんですか。
- 副委員長（加藤敬徳君） 芳賀課長。
- 建設課長（芳賀康貴君） 区画線に関しては、職員でパトロールもしていますので、聞いているようなところはリストアップしていくようにしていますし、各自治会からの要望でも区画線の引き直し等を要望してもらっているところもありますので、それも確認してやっていきたいと思っています。
- 副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。
- 委員（内藤久歳君） それで、区画線の地域の要望という答弁があったんですけども、そういう要望に対してはほぼ100%要望どおりにいっているのか、その辺の実行率とか、そういうものってどんな具合ですか。
- 副委員長（加藤敬徳君） 芳賀課長。
- 建設課長（芳賀康貴君） 区画線に関しては必要であるんで引いてあると思いますので、基本的には全部引き直しをしていくことになるんですけれども、さっき言うように、通学路というのは優先してやっていきたいと思っています。
- 副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。
- 委員（内藤久歳君） 8ページの01土木費で、橋梁長寿命化の修繕計画業務委託の内容をお願いします。
- 副委員長（加藤敬徳君） 芳賀課長。
- 建設課長（芳賀康貴君） 橋梁の委託に関しては、橋梁点検業務委託22橋分、甲斐市の橋梁及び大型ボックスカルバート長寿命化計画策定業務委託、これ195橋分になるんですけれども、これは全て市内の橋になります。これの業務委託。修繕計画に基づく橋梁補修詳細設計業務委託が対象の事業となっております。
- 副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そうすると、その下に赤坂ほか1橋とあって、これは計画の中には当然中央道に架かる部分とそれから一般の市の中に架かっている橋と両方含まれているという認識でいいですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 芳賀課長。

○建設課長（芳賀康貴君） 今回の竜王赤坂の補修工事、もう1橋は坊沢橋という橋になるんですけれども、両方とも市内の橋で、竜王赤坂橋というのが高速道路の上に架かる橋になっています。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そうすると、今のちょっとここに関連するんだけど、中央に架かっている橋は赤坂橋のほかにまだあるよね、たしか。その橋の部分においては計画の中に含まれているという認識でいいですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 芳賀課長。

○建設課長（芳賀康貴君） 中央道に架かる橋に関しては全て計画に含まれておりますけれども、その補修の健全度というのが出ていますので、それが悪くなってくれば補修をつけていくという形になります。

○副委員長（加藤敬徳君） 樋口委員。

○委員（樋口孝之君） 1点だけお願いします。

4ページの12番、土木総務事業の中の事業内容で木造住宅耐震等補助金ということで640万になっているんですけれども、昨年度とほとんど金額は変わっていないということなんですけれども、この補助金の基準で、もう古い建物、何年前の建物は駄目だよとかという、その基準というのがありますか。1点だけ教えてください。

○副委員長（加藤敬徳君） 塚田係長。

○建設総務係長（塚田英仁君） お答えします。

まず、既存の木造住宅で昭和56年5月31日以前に建てられたもので、まず耐震診断を行っていただきます。診断結果が1.0未満のものが改修、建て替え等の補助金の対象になってきますので、必ずその住宅が対象になるかという、分かりませんので、診断をしたものに対して1.0未満の住宅が対象になってきます。

○副委員長（加藤敬徳君） ほかありますか。

〔発言する者なし〕

○副委員長（加藤敬徳君） なければ、所管以外の委員の質問を受けます。

質疑ありませんか。

金丸寛委員。

○委員（金丸 寛君） 4ページ、先ほどから空き家の問題が取り上げられていますけれども、空き家除去事業費補助金300万、これは家主さんが自ら空き家を壊したと思うんですが、1件当たりどのくらいの補助だったんでしょう。

○副委員長（加藤敬徳君） 塚田係長。

○建設総務係長（塚田英仁君） 1件当たり上限が50万円と決まっていますので、全て50万円行いまして、6件あった補助金になります。

○副委員長（加藤敬徳君） 金丸委員。

○委員（金丸 寛君） 今現在、甲斐市には空き家と言われるものがトータルで何件くらいあって、その中で本当に近所で心配される、要するにもう壊さなきゃならんというような状況の空き家というのは何件くらいあるでしょうか。

○副委員長（加藤敬徳君） 塚田係長。

○建設総務係長（塚田英仁君） 今現在、空き家につきましては1,090件という件数を県のほうから情報をいただいております。壊さなければいけないという判断が難しいんですけども、A B C Dという判定がありまして、C判定から著しい空き家という形になっております。そうすると、C判定が91件、D判定が16件という形で、107件ほどが早急な対応が必要じゃないかと思われまます。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） 金丸委員。

○委員（金丸 寛君） 107件は、市としては強制的に取り壊すのか、予定があるのかどうかと、その辺の見通しといたしますか、何かありますでしょうか。

○副委員長（加藤敬徳君） 塚田係長。

○建設総務係長（塚田英仁君） あくまでも市で強制的にとすることはできません。空き家も著しく危険性が多くて、すぐ倒壊するおそれがあるというものは特定空き家というものが認定されなければなりませんけれども、今現在、甲斐市には特定空き家というものの認定をされていませんので、あくまでも所有者様に働きかけていくという形になります。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） 金丸委員。

○委員（金丸 寛君） 今、特定空き家の認定は県がやるんでしょうか、どういう機関がそれ

を認定するのか。

○副委員長（加藤敬徳君） 塚田係長。

○建設総務係長（塚田英仁君） まず、特定空き家というものの定義があります。そのまま放置すれば倒壊が著しくて保安上本当に危険があるもの、衛生的にもよくないもの、景観を損なうものというものが該当になりまして、まずは所有者等にご案内をさせていただいて、そういう対応をしてください、適切な管理をしてくださいというふうなことをしていきます。そこで何回かやっていきますけれども、それで無理であれば、協議会のほうに図っていただいて、現地を見ていただきます。そこで特定空き家になり得るような状況を確認していただいて、さらに勧告等を行いながら、そういうものが全くなされないようであれば、特定空き家という形に認定になってきますので、段取りがある一定の期間必要になってきますので、今の現在はそこまでいっていないという形になります。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） ほかがございますか。

〔発言する者なし〕

○副委員長（加藤敬徳君） なければ、委員の質疑を終了します。

これで建設課についてを終了いたします。

ここで暫時休憩し、職員の入替えを行います。

休憩 午後 1時57分

再開 午後 1時59分

○副委員長（加藤敬徳君） 会議を再開します。

説明、答弁は簡潔にお願いします。

次に、都市計画課所管の事業について説明をお願いします。

久保都市計画課長。

○都市計画課長（久保欽一君） お疲れさまです。よろしくお願ひいたします。

それでは、都市計画課の令和5年度決算の内容につきまして、決算参考資料ナンバー8にてご説明いたします。

なお、決算書につきましてはページが複数にまたがることから、都度、ご案内いたします。

それでは、決算参考資料の11ページをお願いいたします。決算書は114、115ページとなります。

初めに、8款土木費、4項都市計画費、1目都市計画総務費であります。ナンバー01都市計画関係職員費につきましては、支出済額1億2,127万4,871円、財源内訳のその他は開発許可申請や屋外広告物審査などの都市計画手数料、残りが一般財源で、事業内容は、都市計画課職員17人分の人件費であります。

次に、ナンバー10都市計画関係審議会費につきましては、支出済額14万6,302円、財源は全て一般財源であります。主な事業内容は、委員報酬が都市計画審議会2回、景観審議会2回分の報酬、事務費等は食料費、郵送料等であります。

次に、ナンバー11都市計画諸費につきましては、支出済額1,920万301円、財源内訳は、国県支出金が立地適正化計画策定に伴う国の補助金、その他が都市計画図などの売りさばき代、残りが一般財源であります。主な内容は、委員報酬が立地適正化計画策定委員会4回分の報酬、旅費のほか事務費等が、事務消耗品及び郵送料など、委託料は令和4年度、5年度の2か年で策定いたしました立地適正化計画策定業務委託と公園長寿命化計画に基づき5年に1回遊具等の健全度・緊急度の判定をいたします公園施設健全度調査業務委託であります。負担金、補助及び交付金は法令外負担金などであります。

次に、資料12ページをお願いいたします。決算書は116、117ページとなります。

2目幹線道路整備費、ナンバー01幹線道路整備事業につきましては、支出済額は696万8,532円、財源内訳は国県支出金が緑化センター八幡前線測量設計業務委託に伴う国の交付金、市債が合併特例債、残りが一般財源であります。主な事業内容は、事務費等が事務消耗品、参考図書、郵送料、委託料が緑化センター八幡前線測量設計業務で、繰越明許分と合わせて支出をしております。使用料及び賃借料が設計積算に係る電子書籍のライセンス使用料であります。

次に、4目公園管理費であります。ナンバー01都市公園、市立公園維持管理事業につきましては、資料が14ページまでにわたりますので、あらかじめご承知おき願います。本事業は、都市公園18か所、市立公園5か所の維持管理経費で、支出済額は1億2,570万9,389円、財源内訳の国県支出金は南部公園及び西八幡公園トイレバリアフリー化工事に伴う国の交付金と都市公園への防犯カメラ設置に伴う山梨県警の補助金、市債は公共事業等債、その他は公園使用料や自動販売機設置使用料などで、残りが一般財源であります。主な事業内容は、公園管理に係る消耗品、燃料、光熱水費、修繕料、郵送料、樹木手入れ手数料など

の事務費等のほか、委託料は13ページにわたって記載をしておりますが、赤坂台総合公園ほか竜王、敷島、双葉各地区の都市公園、市立公園の維持管理業務委託で、主な委託内容は、清掃の委託をはじめ、樹木や芝生の管理、施設や設備の維持管理などであります。

また、13ページの委託料の最後の項目でございますパークマネジメントプラン策定支援業務1年目につきましては、令和6年度、本年度にプランを策定するための基礎調査を実施したものであります。使用料及び賃借料は公園LED照明リース料など工事請負費は南部公園トイレバリアフリー化工事、西八幡公園トイレバリアフリー化工事前払金、防犯カメラ設置工事は都市公園3園、4か所に設置したものであります。そのほか、赤坂台総合公園噴水ポンプ取替え工事などであります。

14ページをお願いいたします。このほか原材料費は、公園管理用資材の購入経費、公課費は公用車の自動車重量税であります。

次に、ナンバー02開発内公園等維持管理事業につきましては、資料が15ページまでにわたりますので、あらかじめご承知おきください。こちらの事業は、各自治会にあります開発内公園、ちびっ子広場ほか、県と管理協定を結び維持管理を行っております荒川河川公園と市内の公共施設の樹木、街路樹の維持管理経費でありまして、支出済額2,759万3,323円、財源は全て一般財源であります。主な事業内容は、公園管理消耗品、施設修繕料、高木の剪定、樹木消毒、遊具点検手数料などのほか、委託料が荒川河川公園の維持管理、公共施設の樹木、芝生等の維持管理及びちびっ子広場開発内公園の維持管理業務、また使用料及び賃借料は桜の開花時期に荒川河川公園内に設置いたします仮設トイレのリース料であります。このほか工事請負費は、町屋ちびっ子広場遊具改修工事ほか11件で、15ページにわたり記載をしております。ちびっ子広場などの遊具、フェンス、ベンチの改修や遊具の撤去などあります。原材料費は公園管理用資材の購入経費、備品購入費はちびっ子広場のベンチ購入費、負担金、補助及び交付金は市内15地区の地域憩いの広場設置と固定資産税補填の補助金であります。

次に、資料16ページをお願いいたします。

5目公園建設費、ナンバー01公園整備事業、緑化センター跡地活用事業につきましては、支出済額は2億2,520万318円で、財源内訳の国県支出金は（仮称）篠原地区公園整備に係る国の補助金、市債は合併特例債、残りが一般財源であります。主な事業内容は、報償費が山梨大学教授の大山先生にお願いしておりますアドバイザーの報酬、事務費等は旅費、事務消耗品、郵送料であります。委託料は公園用地の草刈りや剪定、落ち葉清掃などの施設維持管

理業務と公園及び建築物の設計及びサウンディング業務、使用料及び賃借料は先進地視察に伴う高速道路使用料、工事請負費は（仮称）篠原地区公園の樹木や芝生への散水、トイレ等の雑用水利用のほか、子供体験学習施設の空調への熱利用を目的とした削井工事であります。なお、繰越明許分の委託料として公園及び建築物の設計及びサウンディング業務委託に前年分と合わせて支出しているほか、公園の地質調査業務を委託しております。

最後に、資料17ページをお願いします。決算書は118、119ページとなります。

7目緑化推進費、ナンバー01緑化推進事業につきましては、緑化意識の普及啓発、緑化活動の推進を図るための経費で、支出済額1,448万2,976円、財源内訳のその他は、昨年度、岩森のポピー、コスモス畑の維持管理についてクラウドファンディングを実施した結果、1,258万5,000円の寄附が集まり、経費を除いた717万4,000円を畑の維持管理に充てることが可能となり、昨年度は98万6,000円を上程したものであります。残りが一般財源であります。主な事業内容は、事務費等が市内の花壇、プランターへ植栽する苗と緑化記念樹の購入経費、役務費が郵送料など、委託料が下段等の維持管理業務委託、工事請負費は富竹新田地内、西八幡内の花壇改修工事などであります。また、原材料費は下段の補修材料等、負担金、補助及び交付金は緑化ボランティアの母体組織「甲斐市花と緑のまちづくり推進協議会」への補助金や、生け垣、花壇等の設置に係る補助金などあります。

以上が都市計画課の令和5年度決算の内容となります。ご審査のほどよろしく願いいたします。

○副委員長（加藤敬徳君） 説明が終わりました。

これより説明に対して質疑を行います。

先に所管の委員の質疑を行います。なお、所管は建設経済常任委員会になります。

質疑はありませんか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 1点だけお願いします。

16ページの01で篠原地区の公園剪定業務というのがあるんだけど、これって伐採をする植木というのがほぼ決まっているという中での選定業務をするということなんだけど、切るものは改めて手を加える必要がないと思うんだけど、その辺の兼ね合いというのはどんな具合になっているんですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 清水緑化センター活用推進係長。

○緑化センター活用推進係長（清水 隆君） お答えします。

昨年度の段階で伐採する木、しない木を選別してありまして、今回この業務でやった剪定業務につきましては、あくまで伐採しない木をやったものでございます。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） じゃあ、これは伐採する木は今言ったようにもう手をかけないで、そのままにしておく。それで、今の説明だと、残す木だけを剪定をして管理をしたという、そういう認識でいいですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 清水係長。

○緑化センター活用推進係長（清水 隆君） はい、おっしゃるとおりでございます。

○副委員長（加藤敬徳君） そのほかありますか。

金丸幸司委員。

○委員（金丸幸司君） 公園の遊具の件ですけれども、今あるところは改修工事なんですけれども、あるところは撤去というふうになってはいますが、撤去の理由って何ですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 田邊緑化推進係長。

○緑化推進係長（田邊 誠君） ちびっ子広場の遊具につきましては、ちびっ子広場の利用状況、また近くの都市公園や市立公園との位置関係、最終的に地元の自治会長さんの要望も踏まえまして、撤去のみなのか、それとも撤去して新しい遊具を設置するのか決定しております。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） 金丸委員。

○委員（金丸幸司君） 分かりました。

場所によっては、子供が最近少なくなったからとか、使わないからという意見もあります。撤去した後にどんな活用をされているかというのは、地元によって何かあったりするんでしょうかね。何も使わずにそのままになっているのか、何か新たに設置してくれとか、そういう要望が逆にあったりするのか。

○副委員長（加藤敬徳君） 久保課長。

○都市計画課長（久保欽一君） こちらは開発内公園やちびっ子広場の予算になります。開発内公園につきましては、もう年数がたつとほとんど使っていないというような状況が見受けられます。ちびっ子広場につきましては区のほうで、子供が使っていないくてもお年寄りがグラウンドゴルフをしているとか、区によって様々であります。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） ほかございますか。

樋口委員。

○委員（樋口孝之君） 15ページのちびっ子広場のベンチです。私もちびっ子広場のところへ行くと、ベンチが傷んじゃって座れない状態とか、塗装が剥げちゃっているとか、それを申請してもなかなか通らないよということを聞いたんですけれども、その辺の状況はどうなんでしょうか。

○副委員長（加藤敬徳君） 久保課長。

○都市計画課長（久保欽一君） 申請をしても通らないということはございませんので、申請をしていただけるようお願いをいたします。

○副委員長（加藤敬徳君） 樋口委員。

○委員（樋口孝之君） ちびっ子広場には何脚ぐらいベンチが欲しいよとかという限度というものもあるんですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 久保課長。

○都市計画課長（久保欽一君） 10個も20個も必要だということになると、ちょっと考えさせていただきますが、今使っているものがもう古くなったとか、もうあと一、二脚欲しいよとか、そういうことであれば全然ご相談に乗りたいと思います。

○副委員長（加藤敬徳君） ほかございますか。

清水委員。

○委員（清水和弘君） 16ページの01公園に井戸を掘りましたですね、この井戸を長期間水を止めておくと、要するに水路が変わって、水が使いたいときに出てこないというようなことが考えられるようなんですけれども、その点、現在の井戸の管理はどのようになっているか、ちょっとお聞かせください。

○副委員長（加藤敬徳君） 秋山整備係長。

○整備係長（秋山裕介君） 井戸については、昨年度80メートル掘ってございまして、今は電気が入っておりませんので、水は汲み上がっていない状況でございます。

○委員（清水和弘君） すいません、水は出しているんですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 秋山係長。

○整備係長（秋山裕介君） 水は今、上のほうには出ておりませんので、動力を使った場合に今度水が出てきますので、今は動力入っておりませんので、下の地下水だけになっておりま

す。

○副委員長（加藤敬徳君） 清水委員。

○委員（清水和弘君） いわゆる地下水の水路が変わっていくというようなことは大丈夫ですね。水を止めておくことによってそういうことが起きてくるという現象があるようだけれども、その辺管理がどうなっているか。

○副委員長（加藤敬徳君） 久保課長。

○都市計画課長（久保欽一君） こちら80メートル掘った迂回路でございますので、例えば30メートルぐらいまでの水源であれば水脈が変わるということはございますけれども、深井戸はその下の岩盤の下の水脈でございますので、水脈が変わるということはございませんので。そこまではもう掘ってあります。あとは動力で揚げるということですが、それをつけてずっと使っていないとポンプが駄目になっちゃうよという話もありますけれども、今まだその段階ではないので、ご心配は要らないと思います。

○副委員長（加藤敬徳君） よろしいですか。

○委員（清水和弘君） 分かりました。いずれにしても予算をかけてあることですから、十分な管理をして、使いたいときにはきちんと使えるような管理をしていただければと思います。以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） ほかありますか。

[発言する者なし]

○副委員長（加藤敬徳君） なければ、所管以外の質疑を受け付けます。

滝川委員。

○委員（滝川美幸君） すみません、先ほどのちびっ子広場の件なんですけれども、申請すれば受けてくださるということは間違いのないということで、首を長くして待つわけなんですけれども、やはり先ほどおっしゃったように、開発内公園というのは、私たちのところもそうですけれども、開発が大分前だとどうしても劣化が始まっています。先日も見ていただきましたけれども、やはり自分のところには子供がいなくても、保育園の子供たちが来る、それから高齢者の施設の方がお散歩に来たときにベンチへ座ったりするわけなんです。それで申請するわけなんですけれども、ちょっとなかなか返事が遅いなというところもありますので、ちょっとそれは本当にけがとか、非常に人体に影響があるようなことがある可能性もありますので、その辺は迅速にさせていただきたいということと、それから、これはちょっと違うかもしれないけれども、同じようなちびっ子広場とか、開発内公園の雑草のことは、これはも

う環境課のほうになりますか。

○副委員長（加藤敬徳君） 久保課長。

○都市計画課長（久保欽一君） 開発内公園の雑草についてはこちらのほうで受けておりまして、こちらの職員が対応したり、大変なところはシルバーをお願いしたりということで、この事業内容の一番下、竜王新町1区開発内公園砂利舗装工事、砂利を1回やり直したというような形の、お金があまりかからないようであれば、そういうこともやっていくということになっています。除草するだけでなくて。

実は、開発内公園につきましては、そういう草が出るということがございますので、今年の開発のところからアスファルト舗装なんかもお願いをしているところでもあります。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） 滝川委員。

○委員（滝川美幸君） 分かりました。

ちょっと公園にアスファルトを張られてしまうと暑くなるだけのような気がします。私たちのところなんかは、手で草を取ることが非常に困難になってきたということで、今、区から除草剤を頂いて、組長さんが除草剤をまきますけれども、その除草剤の費用というのはこちらから出ている。

○副委員長（加藤敬徳君） 田邊係長。

○緑化推進係長（田邊 誠君） 除草剤の費用につきましては、都市計画課からの補助はございませんが、他課の環境整備補助金を活用していただきまして、ぜひ除草剤等を購入していただければと思います。

○副委員長（加藤敬徳君） 谷口委員。

○委員（谷口和男君） 16ページの公園整備事業で、篠原地区公園建築物設計及びサウンディング業務で1億6,700万支出しているんですけども、私、一般質問で玉幡公園の総合屋内プールの設計業務が4,300万ぐらいだったかな、そういうのとあと、フラワーパークアンドミュージアムのヒアリングのときの業務委託が3,000万円ぐらいだったんですね。それで、これ設計業務に幾らかかって、そのサウンディング業務では何をやって、どれぐらいかかったのか教えていただけますか。

○副委員長（加藤敬徳君） 清水係長。

○緑化センター活用推進係長（清水 隆君） 今回の建築物設計及びサウンディング業務ですが、まず、業務内容としましては建築物及び公園部の一部、建築物の周り0.7ヘクタール分、

あとZEB化の検討を含んだものになります。

そして、サウンディングにおきましては、子供体験学習施設の運営ですとか、事業スキームの提案、あとは公民連携手法の検討、あと屋内遊び場の提案などを受けておきまして、サウンディングは一応9社とやっております。

以上になります。

○副委員長（加藤敬徳君） 谷口委員。

○委員（谷口和男君） 設計業務に幾らかかったとか、細かくは分からないんですかね。サウンディングといっても何か曖昧なんですよ、お金を何に使ったのかというのが。

○副委員長（加藤敬徳君） 暫時休憩します。

休憩 午後 2時24分

再開 午後 2時25分

○副委員長（加藤敬徳君） 会議を再開します。

清水係長。

○緑化センター活用推進係長（清水 隆君） お答えいたします。

建築物設計ですが、まず基本設計が5,890万200円、実施設計が1億1,792万8,800円、サウンディングが685万1,000円となっております。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） 谷口委員。

○委員（谷口和男君） じゃサウンディングはあまりお金を、基本設計が五千何万かで、ほとんどはその基本設計以外に……、そんなにかかるもんなんですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 秋山係長。

○整備係長（秋山裕介君） 建築物の設計については、基本設計と実施設計も行っております。

その中で建築に関しては、建築、構造、電気の設備、機械設備、給排水衛生設備、空調換気設備、昇降機等の設計を行っております。

○副委員長（加藤敬徳君） 谷口委員。

○委員（谷口和男君） 基本設計は分かったんですけども、それ以外の設計というのか。

○副委員長（加藤敬徳君） 秋山係長。

○整備係長（秋山裕介君） 基本設計と実施設計を行っておりまして、基本設計のときに建築等の基本の設計を固めまして、実施設計のときに最終的にもう固めている設計なんですけれども。

○副委員長（加藤敬徳君） 谷口委員。

○委員（谷口和男君） 回遊パークのときに聞いたときには、設計で4,300万だったわけですよ。多分それは基本設計だと思うんですけども、それ以外の設計に関する費用というのはないんですよ。何で今回の……。

○副委員長（加藤敬徳君） 秋山係長。

○整備係長（秋山裕介君） 今回の建築設計については、実施設計がメインとなっております。

○副委員長（加藤敬徳君） 箭本部長。

○都市建設部長（箭本 太君） お答えさせていただきます。

今回、規模の大きな建築物というふうなこともございますけれども、基本的に、建築物の設計をする場合、まず大まかな基本の構想を作る基本設計というものがございます。その後、その内部の構造だとか部材だとか、いろんなものを設計する実施設計、いわゆる詳細な設計をする2つのやり方がメインになりますので、今回はそういった形で二本立てというか、一般的にもそういう形になっているというふうにご理解いただきたいと思います。

○副委員長（加藤敬徳君） 谷口委員。

○委員（谷口和男君） ちょっと納得できない説明なんですけれども、そういうことなんで、一応、質問を終わります。

○副委員長（加藤敬徳君） ほかがございますか。

金丸寛委員。

○委員（金丸 寛君） 13ページ、公共施設のLED化というのがかなり進んでいると思うんですが、この場合、ここでは公園のLED照明リース料、公園は全て街灯等はLED化が完成したかどうか。

○副委員長（加藤敬徳君） 田邊係長。

○緑化推進係長（田邊 誠君） こちらの公園リース料でございますが、対象となっている公園ですが、23園のうち13園の154基がリースの対象となっております。残りの都市公園、市立公園13園でございますが、残りの公園につきましてもLED化のほうを既に設置済みでございます。

○副委員長（加藤敬徳君） 金丸委員。

○委員（金丸 寛君） 公園関係は全て完了しているという解釈でよろしいですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 久保課長。

○都市計画課長（久保欽一君） ただいまの説明で、都市公園、市立公園13園における154基がLED化が終了している。都市公園、市立公園は全部で23園ございますので、全てLED化になっているわけではございません。

全ては終わっておりません。まだ10公園についてはLED化が終了しておりません。

○副委員長（加藤敬徳君） 金丸寛委員。

○委員（金丸 寛君） じゃ次に、先ほど篠原公園についての設計、建築等質問があったわけなんですけれども、こういった建物とか施設をやる場合に、市役所内にそういった設計積算を見て、それが分かる方というのがいらっしゃるのでしょうか。

○副委員長（加藤敬徳君） 秋山係長。

○整備係長（秋山裕介君） 市の職員に建築の技師はちょっといないんですけれども、その建築の設計を出しまして、そこの設計事務所に全部積算をしてもらいまして、うちのほうで全部積算の単価のチェック等をさせていただいております。

○副委員長（加藤敬徳君） 金丸委員。

○委員（金丸 寛君） ということは、建物をやる場合、丸投げで設計積算を投げて、返ってきたものを職員の皆さんが一つ一つチェックを入れるということでこういう数字が出てきているということですか。

○副委員長（加藤敬徳君） 秋山係長。

○整備係長（秋山裕介君） 積算が出てきたものを、今度こちらのほうで積算の基準書、物価本等を見まして、そこでチェックを行っております。

○副委員長（加藤敬徳君） 金丸委員。

○委員（金丸 寛君） 民間では、一般的に社内にそういった設計積算ができる人間がいたりとかして、本当に今の執行の皆さんがやっているようなやり方はちょっと信じられないような、要するに丸投げで、それをうのみと言ったら語弊がありますがけれども、1億なら1億の仕事の後追いでチェックするだけの作業だというようなことで工事が進んでいくと、流れとしてね。これちょっと、やっぱり理工系といいますか、そういったものが分かる職員がいて、初めて丸投げして返ってきたのが妥当かどうかという、その検討ができると思うんですよ。この体制そのものがあらゆるものを丸投げして、返ってきたものをチェックしてよしとしているこのやり方というのは、私は間違っていると思います。

その辺を正していかないと、これ幾らやっても高い、安いというようなことをここでやっても、あまり意味がない。決算委員会あるいは予算、そういったものになってしまう。ということは、基本的には、やはりしっかり分かる職員を確保していくということをやっていないと根本的な解決にはならないと思います。ぜひその辺は皆さんもうしっかり考えて、こういったことを検討するなり、今の組織の在り方、これ流されることなく、これでいいのかどうかという疑問といいますか、そういったものを職員の皆さんも持っていただかないと、市民から預かった税金を使うわけですから、そこを間違わないで、しっかりと認識して進んでいていただきたいと思います。ぜひ、その気持ちというか、心構えといったものを持って、予算決算の場に臨んでいただきたいと私は思います。

その辺の意向を伺っておきたいと思います。

以上です。

○副委員長（加藤敬徳君） 箭本部長。

○都市建設部長（箭本 太君） 貴重なご意見をありがとうございます。

今、金丸委員さんからいただいたように、現在、私どもの甲斐市には建築に関する専門職員がいないと。これにつきましては、私どもの部署というよりは、人事の関係になるんですけども、土木関係の技師はおるんですが、建築の専門職はいないということで、人事のヒアリングの際にもそういった専門の職員をぜひ募集をして採用していただきたいというような要望は出させていただいております。人事の担当部署のほうでもそういったことは承知しておりますので、今後も引き続き、そういった職員の確保に向けて、私どものほうからもお願いをしてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○副委員長（加藤敬徳君） では、ほかございますか。

〔発言する者なし〕

○副委員長（加藤敬徳君） なければ、質疑を終了いたします。

これで都市計画課について終了いたします。

ここで暫時休憩し、職員の入替えを行います。

休憩 午後 2時38分

再開 午後 2時39分

○副委員長（加藤敬徳君） それでは、会議を再開します。

説明、答弁は簡潔にお願いいたします。

次に、上下水道業務課、上下水道工務課所管の事業について説明をお願いします。

保坂上下水道業務課長、お願いします。

○上下水道業務課長（保坂義実君） 大変お疲れさまです。

それでは、公営企業部、上下水道業務課並びに工務課の所管をいたします一般会計歳出の内容につきましてご説明をさせていただきます。

決算参考資料につきましては、ナンバー9の3ページをお願いいたします。決算書につきましては96、97ページをお願いいたします。

それでは、説明をさせていただきます。

4款衛生費、2項環境衛生費、1目環境衛生総務費、ナンバー16簡易水道事業会計繰出金、支出済額は6,848万9,000円で、財源内訳は全て一般財源であります。内容につきましては、簡易水道事業会計への繰出金であります。

なお、事業の詳細につきましては、明後日の簡易水道事業会計の決算審査におきましてご説明をさせていただきます。

続きまして、その下のナンバー17小規模水道維持事業につきましては、支出済額が13万2,887円で、財源内訳は全て一般財源であります。内容につきましては、敷島中北部地域で実施をしております簡易水道事業の供給がない吉沢、千田地区の小規模水道の維持事業であり、市におきまして水質検査を実施し、検査結果等を自治会長宛てに通知をする郵便料と検査委託料であります。

次に、決算参考資料の4ページをお願いいたします。決算書は98、99ページになります。

4款衛生費、3項1目清掃費、ナンバー08地域し尿処理施設特別会計繰出金、支出済額は282万円で、財源内訳は全額一般財源となります。

続きまして、決算書は104、105ページをお願いいたします。

6款農林水産業費、1項農業費、3目農業振興費、ナンバー20農業集落排水事業特別会計繰出金、支出済額は525万3,000円で、財源内訳は全額一般財源であります。

続きまして、決算書は116、117ページをお願いいたします。

8款土木費、4項都市計画費、3目下水道費、ナンバー01下水道事業会計繰出金、支出見額は11億6,674万4,070円で、財源内訳は全て一般財源であります。

以上の一般会計から各特別会計、企業会計へ繰出金に係る各事業の詳細につきましては、

明後日に予定をされております各特別会計及び企業会計の決算審査におきましてご説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

○副委員長（加藤敬徳君） 説明が終わりました。

これより説明に対して質疑を行います。

先に所管の委員の質疑を行います。なお、所管は建設経済常任委員会になります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長（加藤敬徳君） なければ、所管以外の委員の質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長（加藤敬徳君） なければ、委員の質疑を終了します。

これで上下水道業務課、上下水道工務課についてを終了します。

以上で本日の審査を終了し、散会とします。

次は、明日3日火曜日も午前9時30分より再開します。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 2時45分